

2021年度

定 時 総 会

2021年6月10日(木)

神奈川県助産師会立とわ助産院

公益社団法人神奈川県助産師会

2021 年度 定時総会プログラム

2021 年 6 月 10 日 (木)

場所：とわ助産院研修室

12:45 Web (Zoom) 接続開始

13:00 2021 年度定時総会 開会

オリエンテーション

物故者黙祷

会長挨拶

議長選出

書記、議事録署名人選出

資格審査報告

13:15 【審議事項】

第一号議案

2020 年度事業報告 (案)

第二号議案

2020 年度収支決算報告及び監査報告 (案)

14:00 休憩 (15 分)

14:15 【報告事項】

1. 2021 年度事業計画

2. 2021 年度収支予算

3. 本部総会報告

議長解任

15:00 閉会

2020年度 表彰受賞者

看護賞	高橋なぎさ 様
神奈川県公衆衛生協会会長表彰	森内 幸美 様
横浜市長表彰	前田いずみ 様
日本助産師会会長表彰	岡田 律子 様
永年活動感謝状	仲 かよ 様
永年活動感謝状	長谷川充子 様

* 新型コロナウイルス感染症の影響により厚生労働大臣表彰、神奈川県保健衛生表彰、母子愛育会会長表彰、日本家族計画協会会長表彰は中止となりました。

2020年度 すくすく赤ちゃん献金表彰者

日本助産師会	山本助産院	山本 詩子 様
	かもめ助産院	鈴木 令佳 様
	ジン オリエンタルダンス スタジオ	神 真紀子 様
神奈川県助産師会	山本助産院	山本 詩子 様
	かもめ助産院	鈴木 令佳 様
	ジン オリエンタルダンス スタジオ	神 真紀子 様
	みどり助産院	山田みどり 様
	ウパウパハウス岡本助産院	岡本登美子 様
	とわ助産院	山本 年映 様
* 日本助産師会への献金にはみどり助産院からもいただいております		
* 神奈川県助産師会の献金には会員有志と募金箱も含まれます		

2021年度 すくすく赤ちゃん献金贈呈先

ダンウェイ株式会社	代表取締役 高橋 陽子様
-----------	--------------

2020年度 寄付報告

企 業	有限会社ルビー本舗
	マドンナ株式会社
個 人	岡本登美子 様

2020年度 事業報告

2020年4月1日～2021年3月31日

公益社団法人 神奈川県助産師会

はじめに

「助産及び母子保健の普及・啓発」「助産師の資質向上のための教育及び環境整備」を主とし、さらなる適切な事務の運営・財務管理の徹底を目指すとともに、本部との連携活動を図りながら本会の目的達成を目指した。

I 助産及び母子保健の普及・啓発及び調査・研究に関する事業

本会主催の出前講座を主としたセミナー・研修会を開催し、広く多くの人への助産及び母子保健の普及・啓発に努める

1 助産及び母子保健の知識の普及・啓発活動

(1) 助産及び母子保健の知識の普及・啓発

・タクシードライバーに助産及び母子に関する知識を普及啓発する

タクシードライバー研修 出張講習 会計1回実施、受講人数 18人

(個人向け講習会を予定していたが、新型コロナウイルス感染防止のため中止)

・女性の健康支援を通し、母子保健の知識の普及・啓発を図る

女性のための健康講座、以下を企画 申し込みがなかったため実施できなかった。

2020年10月1日、10月6日、10月10日 オンライン講座3件

「もしかしてプレ更年期？アラフォーママのための健康講座」

女性のための健康講座、以下をそごう横浜店従業員対象に企画したが、新型コロナウイルス感染防止のため延期となった。

2021年2月27日「更年期を幸年期へ～メノポーズを乗り切るコツとは？～」

・卒業間近の助産師学生が助産師の多様な働き方を再認識し、自己の将来について考える機会を作る

2020年3月より新型コロナウイルス感染防止のため中止となり、2021年3月の依頼なし

・他団体からの要請に応じて会員より研修講師を選定し派遣する

① 上智大学「多機能助産所について」、講師として会員を派遣した。

② 第34回神奈川県母性衛生学会学術集会において、座長として会員を派遣した。

・本会活動や助産及び母子保健、ならびに助産師の教育に関する情報を広報する

① ニュースレター（広報誌）を発行（12月号）し、当会の事業紹介や先輩助産師のインタビュー記事、広告3社を掲載し、会員へ送付した。

② 3年に1度の助産師マップの改正を行った。チラシ形式とし広告4社を掲載し、会員、学校、医療機関等へ送付した。

③ 本会活動を紹介する最新の情報等をホームページやfacebookに掲載、更新した。

④ 次年度計画している当会PR動画の作成、SNSでの広報活動に向けての話し合いを実施した。

(2) 子育て・女性健康支援事業

・子育て・女性健康支援センター事業（ハローベビーかながわ）の推進

① 電話相談 月～土曜日（祝日含）10時～16時 相談件数：939件

2020年4月～8月 神奈川県からの依頼により、コロナ関連の妊産婦の不安に対応した。そのため、昨年より相談件数は20～30%/月増加、コロナ関連の相談は全体の23%だった。

9月以降は、県委託新型コロナウイルス感染症妊産婦相談事業が始まり、コロナ関連の相談数は移行していった。また、コロナ関連以外の妊産婦の不安内容は、重症化し1回の相談時間が昨年と比べ長くなっている。

- ② 「ふれあい助産師サロン」ベビーマッサージ&育児相談、母乳と離乳食・授乳と卒乳について 新型コロナウイルス感染防止のため中止した。
- ③ 電話相談などの相談業務の資質向上のための研修会オンライン開催
2021年1月16日 参加者：42名

・助産師が伝える「いのちのはなし」事業の推進

- ① 助産師が伝える「いのちのはなし」小学校、中学校、高校にて開催 計8施設、9講座
- ② 地域向け家族で聴く「いのちのはなし」オンライン開催 低学年向け1回、高学年向け1回
(4回企画したが、参加予約がなく2回は開催なし)
参加者合計 延べ 親子5組(大人5名、子ども5名)参加

・地域貢献事業の推進

- ① 「とわ助産院」を開放しニーズに合った教室・講演を開催していたが、新型コロナウイルス感染防止のため、以下を中止した。
「10月8日とわの日」、母子のための教室(ベビーサイン・産後ボディケアなど)、沐浴クラス再開後は、沐浴クラス1組実施
- ② とわ助産院にて、横浜市産後ケア事業(宿泊型、日帰り型、訪問型)、大田区の産後デイケアの受け入れを継続し、新たに大田区の宿泊型も開始された。
- ③ 中学生2名の職業体験は実施せず、入院助産の受け入れはなかった。

(3) 行政機関や関係団体・企業との連携強化

・各種団体及び企業と連携し、助産師を派遣する

- ① 赤ちゃん本舗への講師派遣(アリオ橋本店、湘南テラスモール店)は、新型コロナウイルス感染防止のため実施中止(2020年3月より)
- ② 逗子市両親教室講師派遣 2021年2月19日実施
- ③ イオン東戸塚店の助産師相談(担当2名、毎週水・日曜日10時～17時)は、新型コロナウイルス感染防止のため中止(2020年3月～2021年3月)イオン東戸塚店と契約更新会議(2021年2月2日)イオン相談員ミーティング実施(2020年7月20日、2021年2月8日)
- ④ 2020年度より、県委託の新事業開始(新型コロナウイルス感染症に対する事業)
「神奈川県新型コロナウイルス感染症妊産婦等電話相談への助産師派遣」
(月曜日から土曜日10時から16時 祝日含む 年末年始除く)
2020年9月29日～2021年3月31日 相談件数228件
「神奈川県新型コロナウイルス感染症に感染した妊産婦への寄り添い型支援への助産師派遣」
2020年7月16日～2021年3月31日 6件実施

「令和3年度若年妊婦等支援事業」2021年4月より開始するための準備を実施

・要望書の提出等、行政機関との連携を強化

関連団体に要望書を作成し郵送またはメール添付にて提出した。

県議会議員ヒアリングは、新型コロナウイルス感染防止のため中止。

2020年7月7日 45部郵送 自由民主党神奈川県議会議員団

2020年7月10日 1部郵送 県政会

2020年7月31日メール添付 立憲民主党・民権クラブ神奈川県議会

2020年7月10日メール添付 公明党神奈川県議会

2 助産師業務の安全管理及び支援業務

1) 助産師業務の安全管理

ヒヤリハット等の事例をはじめとし、安全管理にかかわる情報の分析による最新データから助産師を教育し、助産師1人1人が業務上の事故再発を防止及び災害発生時妊産婦、女性の支援体制の確立ができるよう以下の活動を行う。

・異常報告書による事例検討・分析を行い共有し再発防止を図る

① 安全対策委員会にて、事例検討、分析を実施し事例分析結果を各部会に報告した。

② 神奈川県産婦人科医会医師2名(嘱託医、高次医療機関産婦人科医) 新生児科医師1名を含めた、アドバイザー会議を年2回企画したが、新型コロナウイルス感染防止のため1回の開催となった。
2021年3月オンライン開催 医師3名へ事例提供、改善策の提案を図った。

③ 医療安全のためのリスクマネジメント研修会を2回開催した。

2020年11月7日 新生児フィジカルアセスメント 参加者54名

2020年12月12日 助産記録を考えよう 参加者32名

・緊急事態が発症した場合、適切かつ迅速な対応に臨む：重症事例3件、事故調査2件

・助産師の損害賠償保険への加入推進：部会集会やミーティング等で加入を促した。

・助産所と嘱託医・嘱託医療機関との連携強化を図るための報告会を開催

助産所と嘱託医・嘱託医療機関の報告会は、新型コロナウイルス感染防止のため中止した。

・助産師業務の安全管理を図る

① 助産所部会で事例検討を実施、情報の共有により助産業務ガイドラインを遵守するよう周知、助産所における新型コロナウイルス感染対策の共有を図った。

② 助産所安全管理評価(感染防止のため個人評価)を実施し、日本助産評価機構助産所評価の推進を図った。

③ 新規開設助産所への訪問、転院搬送事例の聞き取り調査、助産所嘱託医・嘱託医療機関及び協力医療への情報収集を実施し、安全対策実施指導を行った。

・保健指導で開業している助産師に対する安全管理基準の周知徹底

① ヒヤリハット事例1件、部会委員会で検討し、安全対策委員会と日本助産師会に提出した。

② 2021年2月20日 部会集会オンライン開催 参加30名 新型コロナウイルス感染対応での助産師としての取り組みとして、感染対策の啓発と周知、確認、損害賠償保険加入の推進を行った。

2) 支援事業

・災害時の妊産婦、女性を支援する

自然災害時に行政が対策本部実施の際、とわ助産院が「妊産婦・母子対策センターとなり、安全の確保と助産師のボランティア派遣を行う。

- ① 該当する災害はなく実施せず。
- ② 本部災害時安否確認訓練実施（2020年2月）理事、助産所部会、ハローベビー担当者、他会員に対し、170名の安否確認を実施した。
- ③ 災害時備蓄品の点検・補充の実施、災害時マニュアルを改訂し冊子を作成した。

災害支援体制の強化

- ① 神奈川県との災害時派遣協定が3月16日に締結した。逗子市との協定締結促進活動を実施
- ② 神奈川県災害時小児周産期リエゾン会議陪席は、新型コロナウイルス感染防止のため中止
- ③ 神奈川県各地区の災害対策委員による連携強化
- ④ 災害支援助産師の登録制度を組織化し、登録者57名、認定証やビブスを配布した。
- ⑤ 昭和大学の政策提案として、神奈川県と昭和大学、神奈川県助産師会の3者合同で「神奈川県における災害時の妊産婦・母子支援対策の整備」に取り組みを実施 3者会議に3回、昭和大学と神奈川県助産師会の2者会議に4回、参加した。

・災害発生時の支援に関する研修の開催

災害対策研修 オンライン開催 2回（2月の研修は、昭和大学と共催）

2020年11月14日「神奈川県の保健医療救護体制」「災害時の妊産婦・母子支援の現状」参加者64名

2021年2月27日「災害時の妊産婦・母子を守るための支援方法の実際と対策のすべて」参加者109名

・すくすく赤ちゃん献金事業の推進

すくすく赤ちゃん献金贈呈 施設：特定非営利活動法人 子どもセンターてんぼ 10万円

2020年度献金預かり金合計 221,966円（神奈川県助産師会 112,963円 日本助産師会 110,000円）

3) 調査・研究

以下の収集データにより調査・研究を行い、その結果をホームページ・会報から公表し、広く多くの人に周知させる。

・助産師が行う研究等の倫理審査の実施

研究倫理審査なし

・子育て・女性健康支援センター事業（ハローベビーかながわ）のデータ

ハローベビーかながわの電話相談件数・内容を集計しホームページに掲載。本部報告も実施予定。

・いのちのはなし事業のデータ

ホームページに調査報告を掲載した。

・助産所の分娩・搬送に関するデータ

分析を行い安全な助産所運営に役立てるため、各助産所へフィードバックをした。

・母子保健活動に関するデータ：

- ① 母乳育児支援自己評価調査（7月配布：152名 8月回収：80名 回収率：52.6%）は日本助産師会に提出し、機関誌に報告した。

- ② 都道府県助産師会保健指導部会活動調査に協力し、日本助産師会に報告した。
- ③ 神奈川県助産師会保健指導部会会員活動調査を実施し、ホームページに掲載した。

(7月配布：152名 8月回収：90名 回収率：59%)

・クリニカルラダー取得後の労働環境の状況把握

勤務部会：CLOMiP取得後の労働環境の変化を明らかにするため、「アドバンス助産師の働く環境を管理者の視点から探る～神奈川県内で勤務する助産師の労働環境の実態調査より～」

2021年2月5日神奈川県母性衛生学会で発表

保健指導部会：会員活動調査を行い、クリニカルラダーの取得・取得予定の状況の把握を行った。

・助産所実習の受け入れ状況と進学・就職状況のデータの収集

2019年度分：2020年5月に実施 2020年度分：2021年4月に実施予定

II 助産師の資質向上のための教育及び環境整備に関する事業

1 助産師及び助産師養成機関及び看護職の能力向上・スキルアップ

1) 助産師の資質向上のための研修会・講習会

研修会ワーキンググループを組織し、研修会実施に向けて準備を行い、24の研修を企画した。

研修参加者人数 602名(会員 456名、一般 137名、賛助会員 3名)

※2020年度神奈川県周産期医療従事看護職員資質向上研修事業研修(13)

新型コロナウイルス感染防止のため、以下の8の研修を中止した。

・助産業務スキルアップを図るための研修会

女性が起業するための経営手腕 part2 2020年5月16日

・母乳育児ケアに関する研修

※赤ちゃんの言葉の発達 2020年9月12日

※母乳ケア 乳腺炎ガイドライン 2020年9月12日

・産科救急対応に関する研修

※新生児蘇生法 B コース講習 2020年12月6日

※新生児蘇生法 S コース 2020年6月18日 午前・午後

2021年2月18日 午前・午後

※ALSOデモコース(肩甲難産と出血) 2020年8月 未定

※J-CMELS ベーシックコース 2020年9月6日 午前・午後

オンライン開催にて、以下の16の研修を実施した

・助産業務スキルアップを図るための研修会

CTG 判読と対応 2020年12月5日 参加者 29名

助産師が伝える妊産婦の身体づくりについて～自分の力で産むために～

2020年12月5日 参加者 32名

・母子保健に関する研修

知ってる?! プレコンセプションケア ～新しい助産師の働き方を考える～

2021年1月30日 参加者 33名

若年女性の栄養と健康～アスリートの健康管理の経験から～

2021年1月30日 参加者 36名

妊産婦・こども・すべての女性を支える出前講座の実際 2021年3月13日 参加者 17名
新しい家族関係の構築を考える～特別養子縁組の制度の広がりに向けて～

2021年2月20日 参加者 44名

・電話相談等の相談業務の資質向上のための研修会

※帝王切開のケアをもう一度見直してみませんか?～当事者目線で帝王切開を考える～

2021年1月16日 参加者 42名

※きょうだい児の子育てに悩む妊産婦への関わり 2021年1月16日 参加者 42名

・助産業務に関する安全対策のための研修会

※母体感染の実態と対応

2020年10月11日 参加者 68名

※感染症の観察とケア

2020年10月11日 参加者 68名

新生児フィジカルアセスメント 新生児事例報告から学ぶ看護の視点、捉え方

2020年11月7日 参加者 54名

※助産記録を考えよう

2020年12月12日 参加者 32名

・災害対策に関する研修会

※神奈川県保健医療救護体制 災害時の妊産婦・母子支援の現状

2020年11月14日 参加者 64名

※災害時の妊産婦・母子を守るための支援方法の実際と対策のすべて

2021年2月27日 参加者 109名

・助産院留学の推進・各種講座の広報調整

助産院留学：新型コロナウイルス感染防止のため、実施せず。留学手順やホームページ掲載内容の見直しを実施し、留学生募集のチラシを配布した。(会員発送、施設発送、各研修会)

各種講座見学：いのちのはなし1名

「出前講座の実際」の研修会 オンライン開催 参加者 17名

・「いのちのはなし事業」における講師の育成

会議開催にて講義内容の検討、実施心得の作成、地域向け講座の企画をし見学者を受入れた。

2)円滑な学生実習の受け入れのための支援

・助産所実習調整を学校と助産所の連携強化を行い、助産所における実習の受け入れ環境の整備

助産所実習受入のための教育機関と助産所との調整会議

2回実施予定であったが、新型コロナウイルス感染防止のため6月の会議は中止した。

第31回教務部会 2020年12月11日 オンライン開催

出席者：教育機関 39校、助産院 10施設 計49名

内容：助産所実習の詳細な打ち合わせ、2021年度の実習についての説明、当会へ入会案内

・助産所における実習受入環境の整備（神奈川県からの支援あり）

実習を受け入れる助産所の支援：新型コロナウイルス感染防止のため今年度はなし

教務部会にて、助産所実習の中止や感染防止に配慮するよう教育機関、助産所へ周知した

・学生実習や助産師の研修受け入れを行い、後輩育成に努める

とわ助産院において、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、実習を中止する教育機関が

多かった。実習継続する学校、学生に対しては、感染防止に注意しながら、以下受け入れた。
看護学生 1校 4名、助産師学生 4校 10名、研修生 1名（1日間）
助産師会のほか他団体への協力として研修会開催場所として、感染対策をしながら提供した。

2 助産師の労働環境等の改善

以下の活動を行い、労働環境の改善を図ることで助産師・助産所の資質向上のための環境整備に力を入れていく。

- ・病院・診療所における勤務助産師の待遇改善への取り組み
アドバンス助産師の働く環境について調査研究開始

Ⅲ 助産所の運営

本会の収益事業とし、とわ助産院の健全な運営を行う。

妊婦健診・分娩介助・育児相談等の事業を行うとともに、本会の公益目的事業である「助産及び母子保健の普及・啓発」を目指し、以下の活動を行う。

- ① 分娩件数 41件 妊婦健診 325件 産後健診 60件 母乳外来 295件
- ② 産後ケア事業 宿泊型 83件 日帰り型 97件 自費入院 11件 述べ日数 451日
(上記の件数のうち 大田区 宿泊型 25件 日帰り型 43件) 訪問型 29件
- ③ 各種研修会・マタニティヨーガ・ベビーマッサージ等開催のための研修室貸出し、助産師・学生の技術向上のための実習の場として活用してもらった。
- ④ 保育園への講演等、行政・近隣の子育て機関との連携強化に努めた。
(中学生の職業体験受け入れなし、入院助産受け入れなし)
- ⑤ 安全管理指針に基づく従業員への安全管理教育・施設の防犯・防災管理を徹底させ、安心安全な施設運営に努めた。
- ⑥ デジタルサイネージを使用し、広報活動につとめた。

とわ助産院運営会議の開催

分娩数の減少に対する対策の検討とともに、今後の会立助産院としての方向性や運営について、アドバイザーを導入した。多機能性などを踏まえた経営や未来を見据えた会立助産院のあり方など検討した。また、財務会議に参加し経営への話し合いを実施した。

Ⅳ 会員相互扶助に関する事業

本部・他全国部会との連携の強化を図る。特に以下の活動を行うことで、本会の組織強化と福利厚生の実現を図る。

1) 連携促進による組織強化

- ① 本部の総会・研修会・部会集会に参加し、情報交換や連携を行った。
- ② 賀詞交歓会：新型コロナウイルス感染防止のため中止
- ③ 県下の母子保健サービス等の情報をシートに追加した。
- ④ 神奈川県医療政策提案へ「県立の産後ケアセンターの提案」を公募した。
- ⑤ 看護協会助産師職能委員会へ参加

2) 福利厚生

表彰(すくすく赤ちゃん献金表彰等)と表彰推薦を実施した。叙勲なし、慶弔3名
研修会参加補助のためのチケット発行(2000円券2枚)×会員608名

V その他

本会の基本財源である会費収益の安定化を図るため、会員ネットワーク推進等の会員増加対策の実現を目指す。また、各企業・団体への寄付の依頼活動も税制優遇措置を前面に押し出し、リーフレットの配布・ホームページからの呼びかけ等により、収益の安定化に向けた活動を積極的に行う

1) 事業活動や運営の安定と強化

理事会、とわ助産院運営会議、事業運営会議、未来戦略会議を実施し、会の活動・運営に関する必要事項を検討した。

2) 寄付依頼活動・会員ネットワークの推進・強化

・会員ネットワークの推進・強化

当会ととわ助産院のFacebookで研修会やイベントを掲載し、適宜更新した。

当会のリーフレットを発送時に封入し、アピールを図った。

・会員増加対策

会員特典である研修会チケットの発行(2000円×2枚)

入会予約キャンペーン(2021年1月~3月)、入会紹介キャンペーン(2020年4月~5月)を実施し、特典チケットを発行した。学校や病院、保健センター、会員にチラシ発送し、入会者計19名(紹介6人予約13人)2021年度は、研修のオンライン化に伴い研修チケットの発行を休止とし代替え案を実施予定。

・賛助会員入会促進活動

賛助会員数：個人4名、企業7社、学校2校 会費201,000円

病院・保健センター・企業に2020年度賛助会員に継続のお願い文書を送付した。

・会の円滑な運営のために寄付金を集める

寄付：関連企業139社に寄付依頼の文書を郵送 寄付者：個人1名、企業2社(合計124,775円)

ニュースレター(広報誌)、助産師マップへの企業広告(計7社)を募集し広告費収入を得た。

・組織内の連携強化

① 県下の7地区との情報交換や災害対策の体制づくりなど連携強化のために、第2回地区別連携集会をオンライン開催した。(2021年2月10日)

② 県下7地区代表者に要望等のアンケートを実施した。(2020年6月)

③ 部会集会やメーリングリストにて、本部・当会の活動状況や研修の案内等の情報共有に努めた。勤務部会は、新規にメーリングリストを作成した。

3) 財務管理

会の運営が健全に行われるように活動を行う

① 周産期医療従事看護職員資質向上研修事業の収支報告書作成

② 収支予算案の立案、毎月の収支管理、会計監査・決済報告

③ 寄付金や研修会チケットの集計と報告、会員人数及び動向を把握、会費の管理

以上

≪管理部報告≫

◆財務会議

≪メンバー≫

<定例会議> 財務理事：平野珠麻 富宅真理子 総務理事：山田舞・柳井めぐみ

会立助産院院長：山本年映 行政書士：生田目洋文先生

<会計監査> 監事：仲かよ・青島恵美子

<各部会・委員会の会計担当>

助産所部会：諏訪和美 保健指導部会：山浦直子 教務部会：上田邦枝 勤務部会：豊泉博美 広

報委員会：柳井康子 安全対策委員会：石原晶 災害対策：岩崎八千代

組織強化委員会：柳澤裕美 未来戦略委員会：鈴木令桂

助産師派遣（企業：沐浴指導・イオン育児相談・ベビーカレンダーweb相談等）：森内幸美 会立

助産院・とわ助産院運営会議：山本年映 事業運営会議・助産院留学：鈴木裕子 産科救急ワーキ

ング：二見智枝子 タクシードライバー研修：伊藤充代

助産師が伝える「いのちのはなし」：小見裕恵 女性のための健康講座：岡田恭子 ハローベ

ビー：神谷弘子 助産師派遣・助産師学生対象出前講座：岡本登美子

すくすく赤ちゃん献金事業：平野珠麻

≪成果≫

【公1】

1、すくすく赤ちゃん献金事業の推進と実施

1) すくすく赤ちゃん献金贈呈（総会にて）

特定非営利活動法人 子どもセンターてんぼ（理事長：景山秀人様） 10万円

2) 2020年度 献金預かり

預り金合計 221,966円 神奈川県助産師会 112,963円

日本助産師会 110,000円

【公2】

周産期医療従事看護職員資質向上研修事業 収支報告書作成

【会員相互扶助に関する事業】

- ・総会懇親会 ・賀詞交歓会の会計報告
- ・研修会チケットの集計（169枚）
- ・弔慰金 3名

【その他】

- ・2019年度会計監査及び総会において決算報告
- ・月次収支報告作成
- ・会員の動向を把握し会費の管理を実施
- 2020年度 退会 20名（物故者除く） 新入会 43名 総会員数 608名
- ・寄付金の確認と報告
- ・定例会議実施（4/21・6/18・8/20・10/29・12/24・2/4）
- ・会計担当者顔合わせ会議 新型コロナウイルス感染症の影響により実施せず。
- ・上半期決算会議実施（10/29）
- ・2021年度予算会議実施（2/4）及び予算立案

《今後の課題》

公益財務三基準を満たし、会の運営が健全に行われるように収支を管理する。

- ・定例会議において本会における毎月の会計を正確にまとめ、上半期決算と年度末決算が正しく行われる様に務める。
- ・本会の活動が円滑に行われるような適切な予算立てを実施する。

◆会立助産院

《メンバー》

岡本登美子・布施明美・山本年映・矢越アヤ子・山田舞

《成果》

【公1】

1、地域貢献

- 1) コロナ禍で一時休講もあったが定期的な母子のための教室の開催を行った。（ベビーサイン・産後ボディケア・ヨガストレッチ）
- 2) 沐浴クラスの提供はコロナ禍にて制限、問い合わせがあり1組受け入れた。

2、とわ助産院での産後ケア事業による育児支援

- 1) 産後ケア宿泊型受け入れ 83件 産後ケアデイケア受け入れ 97件 自費入院 11件
産後ケア延べ日数 451日日
- 2) 横浜市訪問型母乳相談事業（29件）
- 3) 東京都大田区の産後デイケアに加え、宿泊型も開始され受け入れた。
（上記の件数のうち デイケア 43名 宿泊型 25名）
- 4) 中学生2名の職業体験は行われなかった。
- 5) ハローベビー電話管理、相談員として参加(11回)
- 6) コロナ電話相談室の管理、相談員として協力（延べ18日）した。
- 7) 入院助産の受け入れはなかった

【公2】

- ・看護学校（1校4名だけであった。）助産師課程（4校10名）受け入れ
- ・研修生1名（1日間）受け入れた。
- ・研修会開催場所としての協力を行った。（助産師会のほか他団体への協力）

【その他】

- ・とわ運営会議 4回開催、運営について話し合った
分娩数の減少に対する対策の検討とともに、今後の会立助産院としての方向性について話し合う。
- ・財務会議に参加し健全な経営への話し合いをおこなった。
- ・事業実績
分娩件数（41件） 妊婦健診（325件） 産後健診（60件） 母乳外来（295件）
- ・助産所適格認定については更新であったが保留とした。

《今後の課題》

- ・多機能性を踏まえた助産院のあり方を考えつつ、分娩数の維持への努力する。
- ・アドバイザーの意見を聞きながら、未来を見据えた会立助産院のあり方、活用の検討をする。
- ・健全な経営に努める。（借入金の返済、人事についての検討など）

◆事業運営会議

《メンバー》

- ・岡本登美子（助産師派遣：個人・出前講座：助産師学生）
- ・柳井めぐみ（出前講座：女性のための健康講座）
- ・富宅真理子（ハローベビーかながわ）
- ・中島清美（出前講座：いのちのはなし）
- ・山本年映（会立助産院・タクシードライバー）
- ・森内幸美（事業統括理事 助産師派遣：企業）
- ・鈴木裕子（助産院留学）
- ・岩田美也子（産科救急ワーキング）
- ・布施明美（事業統括理事）

《成果》

【公1】

【公2】

1、2020年度研修会運営

- 1) 新型コロナウイルス感染症予防のため、9月開催予定までの研修会を中止または延期とした。10月より事業運営会議メンバーがそれぞれの研修を担当し、研修会ワーキンググループを組織し、オンライン形式での実施に向けての準備および運営を行った（2020年度研修会報告参照）。

2、2021年度研修会計画

- 1) 新たに教育担当を組織し、各部会・委員会・事業より提出された2020年度研修会希望を調整し、日時・講師・開催場所等を検討、研修会を計画した（2021年度研修会一覧参照）。

【その他】

1、事業運営の円滑化

事業を円滑に展開する為に、各事業代表が集まり事業運営会議をzoom会議で3回開催した。

《今後の課題》

- ・各種事業の発展と円滑化
- ・研修会の企画・運営・評価の基盤作り

《事業部報告》

◆子育て・女性健康支援センター事業「ハローベビーかながわ」

《メンバー》

富宅真理子 高村順子 又木由美 森川岸子 高橋早苗 谷口尚子 割田節子
塩野仁美 浅山道子 森崎妙子 神谷弘子 石井美里 佐藤順子 兵頭めぐみ
池田恵美 宇山美保 水野春海 田村麻弥 みやした助産院 みどり助産院 とわ助産院
いなだ助産院 森重助産院

《成果》

【公1】

1、子育て 女性健康支援センター事業(ハローベビーかながわ)の推進

電話相談 月曜日～土曜日（祝祭日・年末年始含） 10時～16時

相談件数 939件+α（集計未提出あり）

- 1) ふれあい助産師サロン

①ベビーマッサージ&母乳・離乳食

②ベビーマッサージ&授乳と卒乳

2ヶ月～8ヶ月の児を持つ家族20組 参加費：1000円/大人1人

※例年、上記内容でサロンを行っていたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を配慮し、今年度はすべて中止とした。

新型コロナウイルス感染症の影響により、母子が孤立しやすい状況になっていることも考え、2021年度は参加人数の制限（6組まで）・手洗いや消毒、換気・検温を行い再開する予定。

2、子育て・女性健康支援センター事業（ハローベビーかながわ）のデータ

新型コロナウイルス感染症の影響により、相談員の定例会をZOOMによるリモート会議としたため報告書が収集できず、電話相談件数・内容の集計が困難であった。4月に前年度分の報告書を集計しホームページに掲載、本部に提出予定。

3、神奈川県・妊産婦新型コロナウイルス感染症相談への協力

・新型コロナウイルス感染症の急激な感染増加に伴い、不安を抱えた妊産婦が増加したことから、神奈川県からの要請により「神奈川県妊産婦電話相談窓口」の設置までの間（9月末窓口設置）、ハローベビーかながわが妊産婦への不安に対応した。

（R2年4月～神奈川県妊産婦電話相談窓口設置までのコロナ関連の相談件数は102件）

【公2】

1、電話相談などの相談業務の資質向上のための研修会

2021年1月16日開催 参加者：42名（オンライン開催）

《今後の課題》

1、電話相談

- 1) 電話相談員の確保 ・相談員のスキルアップ
- 2) 新しい生活様式に伴う悩みや不安に対応するための知識・情報の共有

2、ふれあい助産師サロン

- 1) 新型コロナウイルス感染症の状況に合わせたテーマやプログラムの検討
- 2) サロンでの感染防止

◆助産師が伝える「いのちのはなし」事業

《メンバー》

派遣講師：中島清美、山浦直子、岡田啓子、柳井めぐみ、小見裕恵、在川有美子、鈴木亜紀、岩崎八千代、沼澤悠、市原こずえ

会議担当：中島清美、小見裕恵、沼澤悠、藤岡恵美、小竹真理子

《成果》

【公1】

1、助産師業務の安全管理及び支援業務

- 1) 助産及び母子保健の普及・啓発活動として対象施設へ講師派遣し講座を実施
助産師 5名が担当した。 8施設 9講義実施
- 2) 「助産師が伝えるいのちのはなし」・地域向け「家族で聴くいのちのはなし」の見学者を1名受け入れた。
- 3) 会議開催7回/年（2020年7/16・9/17・27・11/5・12/17・2021年2/18・3/14）講義内容の検討、実施心得の作成、地域向け講座の企画をした。

- 4) 地域向け家族で聴く「いのちのはなし」を年4回企画したが新型コロナウイルス感染症感染により低学年向け1回(2020年9/27)高学年向け1回(2021年3/14)オンライン開催、運営をした。2020年10/25・2021年1/10は参加予約なくキャンセルとした。
参加者合計(延べ)親子5組、大人5名、子ども5名が参加した。
- 5) ホームページに実施報告を掲載した。
ホームページに申し込み内容(講師交通費)の変更を記載
オンライン開催を導入

2、調査・研究

- 1) 2021年3月13日 「出前講座の実際」講演発表

【公2】

【その他】

《今後の課題》

- 1、学年別指導案と教材の検討、評価表を作成する。
- 2、助産師が伝える「いのちのはなし」実施心得・手順マニュアルを完成する。
- 3、見学者の受け入れを実施するとともに講師の育成に努める。
- 4、地域向け家族で聴く「いのちのはなし」を開催し母子保健の普及に努める。
- 5、各地域にて地域向け講座として実施できるよう企画する。
- 6、オンラインでの実施を企画

◆女性のための健康講座

《メンバー》

市川直美、後未央、岡田恭子、岡田啓子、高橋なぎさ、長谷部恵理子、柳井めぐみ

《成果》

【公1】

1、女性の健康支援(女性のための健康講座の実施)を通して、母子保健の知識の普及・啓発を図った。
今年度は更年期、プレ更年期を対象に、楽しく・元気に・美しく・健康に をキャッチフレーズに、体と心の両面から癒される参加型講座を企画した。

- 1) オンライン講座の企画3件

10/1、10/6、10/10に企画、参加申し込みがなかったため実施せず。

内容:「もしかしてプレ更年期?アラフォーママのための健康講座」

- 2) 講座延期(新型コロナウイルス感染症のため)1件:2/27 そごう横浜店の従業員10名ほどを対象に、実施予定であったが中止、延期となった。

内容は「更年期を幸年期へ～メノポーズを乗り切るコツとは?～」

- 2、会議を8回開催(5/14.6/10.7/21.9/3.9/24.10/21.12/7.2021年1/27)

講座の内容の企画・検討、準備、反省、課題、広報などについて話し合った。

《今後の課題》

- 1、更年期・プレ更年期の参加型講座マニュアル作成
- 2、女性のための健康講座の講師育成
- 3、次年度は幼稚園、保育園の母親をターゲットに、プレ更年期の広報、講座の獲得に努める。
- 4、女性のための健康講座の広報

◆タクシードライバー講習会

《メンバー》

岩田美也子・前田いずみ・山本年映・伊藤充代・平野珠麻

《成果》

【公1】

1、タクシードライバー講習会

コロナ禍において開催は困難と思っていたが1件の依頼あり。

9月30日ラジオタクシー 18名の受講と優良マタニティドライバー証発行した。

個人向け講習会は計画にあったが、中止とした。

【その他】

1、3月13日 「出前講座の実際」で講師・平野、妊婦役・山本で会員に向け講習内容の一部紹介と、メンバー募集のお知らせを行った。

《今後の課題》

- 1、より広く広報すること。
- 2、Webでの開催等も検討事項とする。
- 3、講習会内容の再検討をする。

◆助産師派遣（企業）

《メンバー》

沐浴指導：長谷川佐知、小川美里、前田万喜、村田紗恵子、坂井五月、川上かほり、喜多野和代、山本美貴、在川有美子、与那嶺祐子、早船美和、伊東明子、中村照代、川口みどり、及川ひろみ、清水由紀子、中島清美、石井博美

相談員：柴山裕美、清水由紀子、森内幸美、平船泉、山本美貴、石原昌、和部佳世、鎌田真弓、栗原智郁枝、牛草明子、中島清美、黒木亜紀子、

講師：高橋景子、伊藤充代

《成果》

【公1】

1、他団体からの要請に応じ研修会へ講師派遣

- 1) 赤ちゃん本舗アリオ橋本店 新型コロナウイルス感染症予防のため実施中止
- 2) 赤ちゃん本舗湘南テラスモール店 新型コロナウイルス感染症予防のため実施中止
- 3) 逗子市両親教室講師派遣 R3年2/19実施
- 4) 神奈川県新型コロナウイルス感染症妊産婦等電話相談への助産師派遣
月曜日から土曜日 10時から16時 祝日含む 年末年始除く
R2年9/29からR3年3/31 相談件数228件
- 5) 神奈川県新型コロナウイルス感染症に感染した妊産婦への寄り添い型支援への助産師派遣
R2年7/16からR3年3/31 6件実施

2、企業と連携を図り相談員として助産師派遣

- 1) イオン東戸塚店にて助産師相談 R3年3月まで開催中止
- 2) イオン東戸塚店と契約更新会議 (R3 2/2)
- 3) イオン相談員ミーティング実施 (R2 7/20 R3 2/8)

《今後の課題》

- 1、企業・団体との連携を図り、母子保健における知識の普及・啓発活動に努める
- 2、企業・自治体からの委託事業の受託を行う
- 3、講義内容、相談内容の確認と検討、実施状況を把握し報告する
- 4、赤ちゃん本舗アリオ橋本店、イオン相談員メンバー会議、新型コロナウイルス感染症妊産婦等電話メンバー会議を開催する

◆出前講座（助産師派遣）

《メンバー》 岡本登美子

【公2】

- 1、「助産師の資質向上のための教育及び環境整備に関する事

以下2件、講師を派遣した。

- 1) 上智大学

テーマ ①「多機能助産所について」

②助産所の多機能（訪問看護ステーションを開設してみよう）と地域の母子支援の必要性を伝える

講師 岡本登美子

- 2) 第34回神奈川県母性衛生学会学術集会・ランチョンセミナー

テーマ 母と子を助ける「赤ちゃんのスキンケア」について

①新生児からはじめる保湿で肌を守る

座長 岡本登美子

◆産科救急ワーキンググループ

《メンバー》

古山知子・杉有希・二見智枝子・津田いつく・藤平麻理子・岩田美也子

《成果》

【公1】

【公2】

新型コロナウイルス感染症防止のため事業を中止した。

- 1、新生児蘇生法Bコース（1回）

日時：2020年12月6日（日）10：00～17：30

- 2、新生児蘇生法スキルアップSコース（4回）

日時：2020年6月18日（木）1回目9：00～12：00 2回目14：00～17：00

2020年2月18日（木）3回目9：00～12：00 4回目14：00～17：00

- 3、日本母体救命普及協議会（J-C i m e l s）ベーシックコース（2回）

日時：2019年9月6日（日）1回目9：00～13：00 2回目14：00～18：00

【その他】

- 1、2021年度講習会計画を行なった。

1) 新生児蘇生法Bコース（1回）

2) 新生児蘇生法スキルアップSコース（4回）

3) 日本母体救命普及協議会（J-C i m e l s）ベーシックコース（2回）

《今後の課題》

- 1、各講習のインストラクターの確保
- 2、ワーキングメンバーの確保

◆出前講座(助産師学生)

《メンバー》 岡本登美子

【公2】

「助産師の資質向上のための教育及び環境整備に関する事業」
学生実習も制限され出前講座の依頼なし

◆助産院留学

《メンバー》

鈴木裕子、平野珠麻

《成果》

【公1】

【公2】

- 1、新型コロナウイルス感染症防止のため、事業は実施されなかった。
- 2、助産師の資質向上のための教育及び環境整備に関する事業
 - 1) 留学及び各種講座見学の手順
 - 2) 留学生募集のためのチラシ配布（会員発送、施設発送、各研修会にて）
 - 3) 留学申し込みについての見直し（研修希望先がなかった場合、助産師以外の希望者の場合）

【その他】

《今後の課題》

- 1、助産院留学・各種講座見学の継続
- 2、事業の広報（チラシのリニューアル、HP 見直し）

《専門部会》

◆助産所部会

《メンバー》

中島清美、岡本登美子、鈴木令佳、諏訪和美、山田舞、齋藤かおり、熊谷知子

《成果》

【公1】

- 1、助産師業務の安全管理及び支援業務
 - 1) 助産所安全機能評価実施
 - ①コロナ禍にて個人評価を提出
 - ②9月から11月の2か月間で行った
 - 2) 毎月の安全対策委員会に出席し、転院搬送事例の分析を行った
 - 3) 産婦人科医師・小児科医師を加えた安全対策委員会のアドバイザー会議に出席
 - 4) 各月にて部会定例会を開催
 - ①安全対策委員会の事例検討のまとめ報告
 - ②コロナ禍による感染対策に関する情報交換

- ③災害対策として災害協力助産所への呼びかけ
- 5) 助産所における安全対策実施指導のための活動
 - ①新規開設者の訪問
 - ②転院搬送事例の聞き取り調査
 - ③助産所嘱託医・嘱託医療機関及び協力医療への訪問
- 6) 助産所分娩データ収集システムの更新に伴い説明会参加
 - ①ITシステムによる報告書の情報管理

2、調査・研究

- 1) 実施なし

【公2】

- 1、クリニカルラダー更新に必要な研修会、助産所安全管理、コロナ感染拡大防止に必要な研修会の紹介を部会にて紹介

【その他】

- 1、コロナ禍において部会委員会および定例会をオンラインで実施した

《今後の課題》

転院搬送報告の分析にあたり助産所業務ガイドラインの周知徹底はもとより、分娩期の安全管理および新生児フィジカルアセスメントに関する知識の研鑽に努め助産所における実践的、具体的な研修のあり方を検討する。コロナ禍にて部会員同士のコミュニケーションがとりにくい状況下となっているが助産所が医療機関との連携と社会からの信頼を得て活動できるためにも部員間の情報交換と互いの学び合いを強化する。

◆保健指導部会

《メンバー》

又木由美 池上孝子 山浦直子 竹内章子 兵頭めぐみ

《成果》

【公1】

- 1、助産師業務の安全管理及び支援業務

- 1) 助産師業務の安全管理

- ① 令和3年2月20日部会集会（初のオンライン開催） 参加30名
～新型コロナウイルス感染症対応での助産師としての取り組み～
感染対策の啓発と周知、確認
損害賠償保険加入の推進
- ② 新型コロナウイルス感染症ウイルス感染拡大防止のための情報提供、周知徹底
本部からの情報を、メーリングにて周知

- 2、調査・研究

- 1) 母子保健活動に関するデータの収集

- ① 委員会開催：5/13 6/10 7/8 9/9 10/14 11/11 1/25 2/10
- ② 母乳育児支援自己評価調査
(7月配布：152人 8月回収：80人回答 回収率：52.6%)
日本助産師会に提出→機関誌にて報告
- ③ 都道府県助産師会保健指導部会活動調査に協力

部会長が作成→日本助産師会に提出

- ④ 本会保健指導部会会員活動調査を当会 HP に掲載
(7月配布：152名 8月回収：90名 回収率：59%)
- ⑤ ヒヤリハット事例 1件
部会委員会で検討、安全対策委員会に提出

【公2】

1、連携促進による組織強化

- ① 日本助産師会総会・研修会・部会集會に参加、情報収集や情報交換など連携を行う
- ② メーリングリストにて情報発信
保健指導部会員の情報共有化
日本助産師会・当会活動の活動状況、研修の案内等の情報伝達

《今後の課題》

- 1、保健指導部会会員の活動実態を把握することで、当会へ反映させられることを検討する
- 2、部会集會の内容充実を図り、会員の意識強化と会員間の情報交換や交流の場に役立てる
- 3、安全管理基準の周知徹底と損害賠償保険加入推進を図り、安全な母子保健活動に繋げる

◆勤務部会

《メンバー》

吉田とも子 二見智枝子 弘末睦子 豊泉博美 塚田ひとみ

《成果》

【公1】

1、助産師業務の安全管理及び支援業務

- 1) 助産師に損害賠償保険の加入を推進する事も目標の一つとして、勤務部会のメーリングリストを作成

2、調査・研究

- 1) CLoCMiP 取得後の労働環境の変化を明らかにすることを目標として、「アドバンス助産師の働く環境を管理者の視点から探る～神奈川県内で勤務する助産師の労働環境の実態調査より～」2021年2月5日神奈川県母性衛生学会で発表

【公2】

1、研修会の運営

- 1) 「CTG判読と対応～基礎から学ぶ～」

実施年月日：2020年12月5日 場所：とわ助産院 オンライン研修

講師：関東労災病院 香川秀之氏 参加者：29名

- 2) 「助産師が伝える妊産婦の体づくりについて～自分の力で産むために～」

実施年月日：2020年12月5日 場所：とわ助産院 オンライン研修

講師：山本助産院 山本詩子氏 参加者：32名

【その他】

1、勤務部会義の開催

7月2日、9月4日、11月6日、1月8日、2月5日、3月5日 ZOOM 会議

- 1) 神奈川県母性衛生学会発表の準備
- 2) 研修会開催の準備運営について

3) 勤務部会メーリングリスト登録と運用促進について

4) 看護協会助産師職能報告 他

《今後の課題》

- 1、「アドバンス助産師の働く環境を管理者の視点から探る～神奈川県内で勤務する助産師の労働環境の実態調査より～」神奈川県母性衛生学会論文投稿
- 2、アドバンス助産師の働く環境についてスタッフの立場から調査研究開始
- 3、勤務部会メーリング登録者数の増加
- 4、勤務部会集会の開催

◆教務部会

《メンバー》

上田邦枝

《成果》

【公2】

- 1、助産所実習受入のための教育機関と助産所との調整会議を1回開催した。
 - 1) 第31回教務部会 2020年6月新型コロナウイルス感染症感染症予防のため中止
 - 2) 第31回教務部会 2020年12月11日14:00～16:00、神奈川県総合医療会館+リモート
出席者 教育機関 39校、助産院 10施設 計49名
 - ① 助産所実習の詳細な打ち合わせ
 - ② 2021年度の実習に関する説明
 - ③ 神奈川県助産師会への入会の促し

【その他】

- 1、新規に助産院実習を行いたい教育機関からの問い合わせとその対応
- 2、2021年度新規に加入、助産師養成課程2校脱退
- 3、助産所実習の受け入れ状況と進学・就業状況に関するデータ収集は4月

《今後の課題》

- 1、助産所実習調整システムの変更
- 2、実習時の災害対策および学生対応
- 3、4部会（助産所部会・保健指導部会・勤務部会・教務部会）の連携
- 4、次会議：2021年6月リモートで行う予定。

《委員会報告》

◆広報委員会

《メンバー》

野村香緒理、山田舞、柳井康子、富岡典子、柄本夏紀、伊東明子

《成果》

【公1】

- 1、助産及び母子保健の普及啓発に努める
 - 1) ホームページの見直し、更新を実施
 - ①本会活動を紹介する情報等、最新の情報をHPに掲載、更新し、ホームページの充実を図った。

2) ニュースレター（広報誌）の発行（12月号）

①当会の事業紹介や先輩助産師のインタビュー記事等を記載し、新規に広告（3社）を掲載し、会員へ送付した。今年度は、助産師マップ作成のため、年1回発行した。

3) 助産師マップの改正

①3年に1度の助産師マップの改正を行った。今まで、冊子だったが、一目で分かるようにチラシ形式としコスト削減にも努めた。広告4社を掲載し、会員、学校、医療機関等へ送付した。

4) 委員会開催

①会議（計5回）、活動計画、助産師マップ改正、ニュースレターの企画、編集作業、ホームページ見直し更新作業などを行った。次年度の当会PR動画の作成、SNSでの広報活動に向けての話し合いを実施した。

《今後の課題》

- 1、ホームページの見直し、更新、助産師マップの評価を引き続き行っていく。
- 2、ニュースレターの作成にあたり、見直し・充実を図っていく。
- 3、新たに、当会PR動画の作成、SNSでの広報活動を通して情報発信を行っていく。

◆安全対策委員会

《メンバー》

岡本登美子 石原 昌 市川恵子 加藤千晶 鈴木令佳 千葉真紀
中島清美 竹内章子

《成果》

【公2】

1、異常報告と再発防止

- 1) 年11回、委員会開催。助産所部会より異常報告書、保健指導部会よりヒヤリハット事例報告提出、事例検討、分析、振り返り、再発防止の情報共有を行なった。
- 2) 年2回、アドバイザー会議開催予定であったが、今年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大によりリモートにて3月に1回の開催となった。神奈川県産婦人科医会医師2名（嘱託医、高次医療機関産婦人科医）神奈川県立子ども医療センター新生児科医師に事例提供、共有を図り改善策の提案、共通理解をはかった。

3) 研修会開催

2020年12月に「産科危機的出血」「新生児のフィジカルアセスメント」、2021年2月に「助産記録」の研修会を行なった。

病院や助産所の臨床現場で即座に実行できる内容を行なった。

【その他】

- 1、助産所における新型コロナウイルス感染症対応も助産所部会と共有した

《今後の課題》

- 1、報告書のわかりやすい記載・経過・記録のアセスメント力の向上を図る。
- 2、分娩直後の新生児への看護判断能力・技術の向上
- 3、くりかえし同じ事故・異常事例を報告する助産所への指導内容、対処方法

◆災害対策委員会

《メンバー》

柳澤裕美・上田邦枝・清水隆子・山本年映・宮崎悦子・
岩崎八千代・鷺原香穂里・栗原智郁枝・浅山道子

《成果》

【公2】

1. 研修会開催2回（1回は昭和大学に協賛）

2020年11月14日 参加者；64名 2021年2月27日 参加者；108名

（いずれも ZOOM 配信）

2. 災害時には必須な地区との連携のため、各地区より災害対策委員の選出をした。

3. 災害対策委員会 4回開催

（昭和大学との2者会議 4回、昭和大学と神奈川県との3者会議 3回を行い政策提案について話し合った。）

4. 本部研修(安全対策研修)に災害対策委員7人が参加(11/21)した。

5. 本部指示の災害時安否確認訓練実施(2/2)し170名の安否確認ができた。

6. 災害支援助産師の登録制度を組織化が完成し57名の登録、認定証やビブスの配布も行った。

7. 昭和大学の政策提案の1年目としての活動、神奈川県と昭和大学、神奈川県助産師会の3者合同で「神奈川県における災害時の妊産婦・母子支援対策の整備」に取り組む。災害時マニュアルの改訂、冊子として作成した。

神奈川県との災害時派遣協定締結(3月16日)がされた。

8. とわ助産院の備蓄品の補充を行った。

9. 神奈川県の災害時小児周産期リエゾン会議への陪席はコロナ禍で一時中断中である。

10. 逗子市との協定締結に向け活動した。

【その他】

《今後の課題》

1、組織強化とともに会員との連絡の工夫を試み、安否確認をより多く可能にする。

2、各地区が行政との連携ができるよう推進する。

3、昭和大学、神奈川県と共に政策提案に基づき活発な活動をし、母子向けのマニュアルやリーフレットの完成を目指す。

4、逗子市との協定締結を目指すとともに、各地区と行政との連携強化を推進する。

◆組織強化委員会

《メンバー》

柳澤裕美、鈴木令佳、上田邦枝、又木由美、吉田とも子

《成果》

1、県下7地区との連携強化

2、研修のオンライン化に伴い、2021年度は会員特典である研修チケットの発行を休止とし代替え案を決定(キャンペーン利用の入会者・紹介者に研修会1回分を無料、研修会参加費の見直し：会員3000円→2000円)

3、県下の母子保健サービス等の情報をシートに追加

【公1】

【公2】

【その他】

1、組織基盤の安定化にむけた活動と管理

2) 寄付依頼活動・会員ネットワークの推進・強化

① 会のアピール

会のリーフレットの活用(発送に封入)

② 会員ネットワークの推進・強化を図る

組織内の連携強化

・ 各地区代表者にアンケート実施(6/21)

(内容)・神奈川県への要望

・神奈川県助産師会への要望

・新型コロナウイルス感染症感染症に関する事業等の変化や試みなど

・その他トピックスなど

・ 第2回地区別連携集会の開催(2/10) オンライン形式

(参加者)地区代表者:6名、理事:3名、組織強化委員:4名 計13名

(内容)・各7地区の助産師会活動や母子保健状況の情報交換

・情報シートの記入状況の確認と追加記入のお願い

・6月実施のアンケートへの回答

・2021年度の神奈川県への要望について

・会員全体と各地区ごとの連絡網作成について

・災害対策について(災害時支援協力助産師、安否確認等)

・地区別会員名簿の送付について(3/16送付)

③ 会員増加対策を行う *会員 608名(2021年3月31日現在)

・会員特典である研修会チケットの発行(2000円×2枚)

・ 入会予約キャンペーンの実施(2021年1月～3月)

特典チケットの発行(1000円×2枚)

学校(52校)にチラシのデータ送付(12/11)

病院(143施設)、保健センター(64施設)にチラシ発送(12/23)

*入会者17名(クレジット利用10名)

・ 入会紹介キャンペーンの実施(2020年4月～5月)

特典チケットの発行(1000円×2枚)

会員にチラシ発送(12/23)

*入会者2名(クレジット利用0名)

④ 賛助会員の入会促進活動を行う

学校(52校)にチラシのデータ送付(12/11)

病院(143施設)、保健センター(64施設)、企業(139社)へチラシ送付(12/23)

2020年度賛助会員に継続のお願い文書を送付

*個人4名、企業7社、学校2校:会費201,000円

⑤ 寄付金を集める

企業(139 施設)に依頼文書の発送 (12/23)

* 企業 2 社、個人 1 人 収入 124,775 円

《今後の課題》

1、連絡網の作成

- 1) 会員全体：メーリングに代わる情報伝達のツールとする
迅速な情報の伝達、参加しやすく参加者の増加を図る
- 2) 各地区別：災害時の安否確認、地区ごと情報共有、母子保健活動の推進、
各地区の助産師会加入の促進等に役立てる

◆倫理委員会

《メンバー》

上田邦枝・村上明美・千葉真希・池川明（外部）

《成果》

【公1】

「助産師および母子保健の普及・啓発および研究・調査に関する事業」

- 1、今年度は研究倫理審査の申請はなかった。

《今後の課題》

- 1、研修等での資料配布における著作権等に関わる規約
- 2、研究倫理審査の対象に関する細則の検討

◆未来戦略

《メンバー》

岡本登美子・柳澤裕美・布施明美・山本年映・山田舞・鈴木令佳

《成果》

【公1】

- 1、今年度の要望書は各政治団体へ郵送された

【公2】

- 1、神奈川県医療政策提案へ応募
- 2、県立の産後ケアセンターを提案した

【その他】

- 1、新型コロナウイルス感染症の影響で活発な活動ができなかった

《今後の課題》

- 1、助産師として地域や社会に対しどのようなかたちで切り込んでいくか考えていきたい

1、開催回数 12回

2、開催日時

1回	2020年 4月 27日 (月)	出席理事	13名
2回	2020年 5月 25日 (月)	出席理事	14名
3回	2020年 6月 4日 (木)	出席理事	14名
4回	2020年 6月 22日 (月)	出席理事	14名
5回	2020年 7月 27日 (月)	出席理事	14名
6回	2020年 8月 24日 (月)	出席理事	13名 (臨時)
7回	2020年 9月 28日 (月)	出席理事	13名
8回	2020年 10月 26日 (月)	出席理事	13名 (臨時)
9回	2020年 11月 24日 (火)	出席理事	14名
10回	2021年 1月 18日 (月)	出席理事	14名
11回	2021年 2月 22日 (月)	出席理事	14名
12回	2021年 3月 15日 (月)	出席理事	14名

第1回

1. 2020年度 定時総会について
2. 2019年度事業報告書(案)について
3. すくすく赤ちゃん献金贈呈施設について
4. 助産所実習の学生の受け入れについて
5. 母子保健奨励賞の推薦について
6. 2020年度 要望書(案)の作成について
7. 新型コロナウイルスの感染拡大に伴う6月以降の研修会と部会委員会活動について
8. 新型コロナウイルス感染拡大に伴う派遣事業の実施の是非について
9. Web会議やメール会議時の会議費について
10. アドバンス助産師更新申請に関する本部アンケートについて
11. 2020年度 部会・委員会メンバーについて
12. その他

第2回

1. 2020年度 総会について
2. Web会議やメール会議時の会議費について
3. 本部総会の審議事項の質疑について
4. 助産師会名義の法人クレジットカード作成について
5. Zoom 契約について

6. 県から送付されたマスク配布について
7. 第5回理事会 審議事項（案）について
8. その他

第3回

1. 代表理事選定の件
2. 担当理事選定の件
3. 監事選定の件

第4回

1. 部会・委員会メンバー表について
2. 昭和大学と神奈川県助産師会の事業契約書について
3. 2020年度要望書（案）について
4. 県委託事業について
5. 子育て・女性支援センター活動報告について
6. 研修会の開催方法について
7. 「じょさんしオンライン神奈川」設立とお願いについて
8. メーリングリストの責任者について
9. 令和3年度神奈川県計画の策定に向けた意見募集について
10. 母子衛生研究会より後援名義依頼とメール配信またはチラシの配布依頼
11. COVID-19による医療者対象シミュレーション教育に関するアンケートのお願い
12. その他

第5回

1. とわ助産院運営会議メンバーについて
2. 会計に関する取り決めについて
3. 令和3年度神奈川県計画の策定に向けた意見募集について
4. 2021年度に向けて事業部委員会の見直しと教育委員会発足の提案
5. ビブスの郵送料金および会員証の作成に関する文言について
6. 今年度のNCPRの開催について
7. ハローベビーへのクレーム対処とヒヤリハット報告書提出について
8. オンライン研修の講師への通信料の支払いについて
9. 女性のための健康講座一般向け（10月）の広報方法とオンラインチケット利用について
10. 女性のための健康講座の研修（1月30日開催予定）について
11. 2021年度 賀詞交歓会の講演（案）について
12. 事務局の雇用日数について
13. 2021年度 定時総会の日程（案）について
14. その他

第6回

1. とわ助産院運営会議メンバーと外部顧問について
2. 女性のための健康講座一般向け（10月）の参加費と広報について
3. 神奈川県私立洗足学園高校よりアンケートのお願い
4. とわの助産所評価認定について
5. 10月からの「ふれあい助産師サロン」実施方法について
6. 神奈川母性衛生学術集会の後援名義依頼について
7. おかやま妊娠・出産サポートセンターよりアンケート調査協力依頼

第7回

1. 今年度8月までの財政状況と以下審議事項
2. 神奈川母性衛生学術集会の助成金について
3. 研修会をオンラインで行うにあたり、zoomウェビナー登録について
4. 2021年1月25日（月）の賀詞交歓会について
5. 2021年度の事業計画（案）について（教育委員会など）
6. とわ助産院の助産所評価認定について
7. 神奈川県の慰労金申請について（とわ助産院）
8. 災害時災害時支援協力助産師の登録証とビブスのデザインについて
9. 今年中止となった神奈川県母性衛生学会発表について
10. 勤務部会メンバー299名全体のメーリングリスト作成について
11. 助産師マップについて
12. 神奈川県公衆衛生協会会長表彰の推薦者について
13. 神奈川県私立洗足学園高校よりアンケートのお願い
14. その他

第8回

1. 会のPRビデオの作成について
2. 11月7日オンライン研修会の運営について
3. オンライン決済の委託会社について
4. 助産師マップについて
5. とわ助産院研修室使用と教室開催について
6. 登録助産師の登録証やビブスのデザインについて

第9回

1. 2021年度事業計画（案）について
2. 2021年度研修会計画案・講師謝金
3. 上半期決算会議報告
4. 2021年度事務員給与について

5. オンライン会議資料のコピー代について
6. とわ助産院運営会議の外部顧問料について
7. とわ助産院のパソコンのリースについて
8. 研修会専用アカウントと各講座の予約システムについて
9. 今年度の研修会のビジョンブリッジへの委託について
10. 研修会参加費について
11. 2021年度研修会チケットについて
12. 入会予約キャンペーン、入会紹介キャンペーン、賛助会員の特典について
13. 年賀状について
14. 受賞者への対応について
15. その他

第10回

1. 会員全員の連絡網の作成についての提案
2. 助産師マップの活用について
3. 事業運営会議の教育担当メンバー追加について
4. ハローベビーかながわの電話相談料の増額の件に関して
5. 2021年度 事業計画（案）について
6. メーリング掲載の取り決め（規約）について
7. 岡山大学大学院保健学研究科からのメーリング掲載について
8. 表彰候補者（案）について
9. 2021年度 総会 議長等の検討について
10. 2021年度 理事会日程について(案)
11. その他

第11回

1. 神奈川県委託事業への公募プロポーザル募集への応募について
2. ビジョンブリッジによる「オンライン研修会操作運営」の研修会について
3. 災害マニュアルについて
4. 災害支援協力助産師のWeb登録変更について
5. 会員のLINEを活用したネットワークの設立について
6. 非会員（関連団体の会長や役員）の弔慰金の取り決めについて
7. 2021年度 予算案について
8. 2021年度 事業計画について
9. メーリング掲載の取り決め（規約）について
10. 2021年度 総会について
11. 2022年賀詞交歓会会場（案）について
12. すくすく赤ちゃん献金贈呈者について

13. その他

第 12 回

1. ビジョンブリッジによる「オンライン研修会操作運営」の研修会について
2. 保健文化賞について
3. 2021 年度予算案について
4. 2021 年度 事業計画について
5. 2021 年度 総会プログラムについて
6. 2021 年度 部会・委員会メンバーについて
7. その他

以上

2020年度 研修会一覧

中止

2020年度神奈川県周産期医療従事看護職員資質向上研修事業

no.	研修会内容	講師	日時	会場	定員	応募人数	参加人数	会員	賛助会員	一般	研修会チケット	特典・賛助チケット	教育ポイント
1	女性が起業するための経営手腕Part2 (助産所開業に関するマーケティングと助成金など)	横浜女性経営者サポートセンター所属 行政書士 伴 貴代子氏	中止		30								
2	新生児蘇生法Sコース(12名×2回)	インストラクター2名	中止		24								
3	ALSOデモコース(肩甲難産と出血)	インストラクター 名	中止		24								
4	J-CIMELS(6名×3ブース×2回)	インストラクター 名	中止		36								
5	仮)赤ちゃんの言葉の発達	言語聴覚士 藤森めぐみ氏	中止		70								
6	仮)母乳ケア 乳腺炎ガイドライン	みやした助産院院長 宮下美代子氏	中止		70								
7	母体感染の実態と対応	聖マリアンナ医科大学産婦人科学 准教授 長谷川潤一氏			70								
8	感染症の観察とケア	北里大学病院救命救急災害医療センター 感染症看護専門看護師 中野由紀子氏	10月11日(日) 13:30~15:00 15:10~16:40	オンライン	70	89	68	50		18			50
9	新生児のフィジカルアセスメント 新生児事例報告書から学ぶ看護の視点、捉え方	神奈川県子ども医療センター 医師 柴崎 淳氏	11月7日(土) 9:30~11:15	オンライン	70	69	54	45		9	44		50
10	【災害対策研修】 神奈川県の保健医療救護体制 災害時の妊産婦・母子支援の現状	神奈川県危機管理課 職員 昭和大学病院 災害看護専門看護師 舍利倉幸香氏	11月14日(土) 13:00~16:30	オンライン	70	74	64	46	2	16			48
11	CTG判読と対応 ~基礎から学ぶ~	関東労災病院 香川秀之氏			70	33	29	26		3	23		26
12	助産師が伝える妊娠期の身体づくりについて ~自分の力で産むために~	山本助産院 山本詩子氏	12月5日(土) 13:00~15:00 15:15~17:15	オンライン	70	37	32	28		4	25		28
13	新生児蘇生法Bコース		中止										
14	助産記録を考えよう	安全対策委員(杏林大学准教授) 加藤千晶氏 安全対策委員(昭和大学元教授) 石原 昌氏	12月12日(土) 9:30~11:20	オンライン	70	41	32	25		7			27
15	帝王切開のケアをもう一度見直してみませんか? ~当事者目線で帝王切開を考える~	帝王切開情報サイト「くもといっしょに」主宰 帝王切開カウンセラー 細田恭子氏	1月16日(土) 13:00~15:00 15:15~17:15	オンライン	70	45	42	30		12			30
16	きょうだい児の子育てに悩む妊産婦への関わり	ほあしこどもクリニック副院長/臨床心理士 帆足暁子氏			70	45	42	30		12			30
17	知ってる?!プレコンセプションケア ~新しい助産師の働き方を考える~	国立成育医療センター母性内科 医員 金子佳代子氏			70	43	33	32		1			33
18	若年女性の栄養と健康 ~アスリートの健康管理の経験から~	(公社)日本栄養士会副会長 神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部栄養学科教授 鈴木志保子氏	1月30日(土) 13:00~15:00 15:15~17:15	オンライン	70	46	36	33	1	2	32		33
19	新生児蘇生法Sコース(12名×2回)		中止										
20	新しい家族関係の構築を考える ~特別養子縁組の制度の広がりに向けて~	一般社団法人ベアホープ 理事(助産師) 赤尾さく美氏	2月20日(土)	オンライン	70	47	44	41		3	31		39
21	【災害対策研修】 災害時の妊産婦・母子を守るための支援方法の実際と対策のすべて	北里大学医学部産科主任教授 海野信也氏			100	147	109	54 県外 5		50			128
22	1 講演	神奈川県立保健福祉大学 吉田穂波氏	2月27日(土) 13:00~16:30	オンライン									
23	2 シンポジウム	(被災の4か所の経験者)											
24	妊産婦・子ども・すべての女性を支える出前講座の実際(タクシードライバー・いのちのはなし・女性のための健康講座)	タクシードライバー:平野珠麻氏 いのちのはなし:中島清美氏 女性講座:柳井めぐみ氏	3月13日(土) 13:30~16:30	オンライン	70	17	17	16 県外 1			14		34
合計					1054	733	602	456	3	137	169	0	556

2020 年度 要 望 書

団体名	公益社団法人 神奈川県助産師会
要 望 内 容	<p>公益社団法人神奈川県助産師会は、助産および母子保健の普及・啓発および研究・調査に関する事業、また、助産師の資質向上のための教育および環境整備に関する事業に取り組み、次代を担うこども達を母親が安心して生み育てられる社会をめざし、妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援と女性の生涯を通じる健康支援に対する支援を地域で活動しております。</p> <p>少子化が進む現在、妊産婦の高齢化・妊産婦の自殺・乳幼児虐待・産後うつなど子育てを取り巻く環境は様々な問題が生じています。又、今年はCOVID-19 蔓延により妊産婦の不安や孤独感、里帰り分娩が出来ない事象など不安を抱えながらの生活を余儀なくされました。大きなリスクを抱えながらの育児は、心に大きな負担を増大させてしまいました。</p> <p>このような状況から助産師の専門的なきめ細やかなケアが必要であり、そのかわりにより健全な親子関係の発展につながります。地域において安全・安心な育児ができるためには、神奈川県全域での平等な支援体制や整備が必要です。適切な助産師の支援を受けられた母親は、孤立化せず、愛情に満ちた子育てを行うことができ、こどもたちの健全な成長につながると考えます。そのため妊産婦・子育てへの提供体制を充実する観点から3点を要望いたします。</p> <p>要望事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 産前産後ケアの充実及び人材育成のできる神奈川県独自の産後ケアセンターの設立と委託を図られたい 2) 全ての女性の出産後（生産・死産に関わらず）健診の平等化を図られたい 3) 成長発達段階に応じた次世代育成のためのプレコンセプションケア（妊娠したいと思う女性がすぐに妊娠できるような身体づくり）の推進と助産師の活用を図られたい <p>1) 要望理由</p> <p>妊娠中から出産後に関して平成28年の母子保健法改定により、「市町村は、必要に応じ、母子健康包括支援センターを設置するように努めなければならない」とされました。妊娠期から子育て期までの切れ目のない継続的なケアは全国を見ても3割の実現にとどまり、神奈川県においても地域格差が生じ、進んでいない現状があります。</p> <p>令和元年12月6日に「母子保健法の一部を改正する法律」が交付され出産後1年を経過しない女子及び乳児への産後ケア事業を行うよう努力義務となり、妊娠中から出産後にいたる支援を切れ目なく行なう観点から、母子健康包括センター、その他の関係機関や母子保健に関する他の事業等との連携を</p>

2020年度 要 望 書

図る事により、妊産婦および乳児に対する支援の一体的な実施その他の措置を講ずるよう努めなければならないと規定されています。この事業を発展することにより、母親の育児不安の解消や身体的不調の回復などの効果が示されています。女性とその家族が、安心して子育てができる環境整備は、産後鬱のケア、子供への虐待予防、妊産婦の自殺予防、少子化対策の要となります。そこで神奈川県が自治体の壁を越え産後ケア施設を設立しモデルケースとして安全な経営環境の中で質の高いケアを提供し、さらに人材育成を同時に行うことを当会が委託を受け推進していく活用を要望します。

2) 要望理由

女性の置かれている現状は、妊娠した女性の7人に1人は流産を経験し、年間2万人を超える女性が死産を経験しています。しかし、それらは、「公認されない死」と呼ばれ、当事者の心身の痛みは周囲から理解されにくい現状があります。流産・死産・新生児死亡という周産期喪失に携わる支援が必要と考えます。母親の反応は、悲嘆が起こり眠れない、食欲低下、気分の落ち込み、不信感、罪悪感、悲しみと怒りという気分の波や孤立また出生前診断後の人工死産を経験するなど支援のニーズは高まっています。このような心の深い傷を体験した女性への支援として、死産である場合、産後健診は公的補助が受けられないため、どんな出産においても平等に産後健診の補助を受けられる公的補助支援を要望します。

3) 要望理由

我が国の年間出生数は、2019年では86万人となり少子化が加速し、生涯未婚率も上昇傾向にあり、今後の出生数の増加は厳しい状況にあります。出生数が激減する中で、妊娠したいと思う女性がすぐに妊娠できるような身体づくり（プレコンセプションケア）の強化は、現社会の重要な課題と考えます。思春期における性教育だけではなく、大学生や結婚を間近に控えた女性、勤労婦人をも対象としたプレコンセプションケアを提供できる環境や人材が必要です。進学や職業選択のキャリア教育の充実・促進が進む中、教育現場での学生自身の健康管理や家事育児に関する教育は人生において重要な視点です。こどもを産み育てることの意味やライフプランの選択を考える機会を目的に、当会は、助産師による出前健康教育を実践しています。又、小中学生を対象にした「いのちの出前講座」「心と体の健康教育」も実施しています。社会で自立し活躍できるためのキャリア教育の一環として、ライフプランも考えられるようプレコンセプションケアを広く行なうことは女性の健康を守り、ひいては家族と次世代の健康を担うこととなります。成長発達段階に合わせた教育のシステムづくりと推進者として、助産師の幅広い活動への支援を要望します。

貸借対照表

令和3年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	21,795,383	23,604,934	-1,809,551
売掛金	4,040,780	3,101,892	938,888
立替金	127,600	0	127,600
前払費用	431,438	491,618	-60,180
未収入金	2,377,251	91,923	2,285,328
仮払金	58,475	46,575	11,900
2 固定資産			
(1) 特定資産			
建物附属設備	3,691,860	4,639,419	-947,559
構築物	87,483	109,353	-21,870
器具備品	322,329	543,006	-220,677
助産師教育事業資金	6,008,407	6,007,717	690
(2) その他固定資産			
敷金	1,561,400	1,561,400	0
出資金	10,000	10,000	0
資産合計	40,512,406	40,207,837	304,569
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	1,232,356	2,240,190	-1,007,834
未払費用	1,429,869	1,261,810	168,059
仮受金	0	4,000	-4,000
未払消費税	629,900	398,400	231,500
預り金	372,691	363,831	8,860
前受金	6,775,000	6,743,000	32,000
2 固定負債			
長期借入金	18,990,000	22,644,000	-3,654,000
負債合計	29,429,816	33,655,231	-4,225,415

Ⅲ 正味財産の部			
1 指定正味財産	205,258	205,258	0
2 一般正味財産	10,877,332	6,347,348	4,529,984
----- (うち特定資産への充当額)	10,877,332	6,347,348	4,529,984
正味財産合計	11,082,590	6,552,606	4,529,984
負債及び正味財産合計	40,512,406	40,207,837	304,569

財産目録

令和3年3月31日現在

(単位 円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
I 資産の部			
1 流動資産			【28,830,927】
現預金			(21,795,383)
	とわ助産院手元現金	運転資金として	590,791
	郵貯銀行 通常預金①	運転資金として	5,287,405
	郵貯銀行 通常預金②	運転資金として	63,863
	郵貯銀行 定額貯金	システム更新積立金	600,000
	横浜信金 鶴見駅東口 普通	運転資金として	13,861,571
	横浜信金 鶴見 普通	借入金返済口座	191,204
	横浜信金 鶴見駅東口定期	助産院修繕資金積立金	1,200,549
売掛金			(4,040,780)
	神奈川県社会保険基金	出産育児一時金	1,680,000
	横浜市	産後ケア委託料	2,111,580
	横浜市、川崎市	妊婦健康診査補助券	208,000
	横浜市	訪問型母乳相談	31,200
	横浜市	支援委託事業	10,000
未収入金			(2,377,251)
	(株)伊藤園	自販機 販売手数料・電気代	7,130
	派遣・出前講座	講座2件	80,380
	神奈川県健康医療局	新型コロナ電話相談	2,217,116
	〃	新型コロナ寄り添い型支援	72,625
前払費用			(431,438)
	助産院貸主	助産院家賃 4月分	414,438
	駐車場貸主	駐車場代 4月分	17,000
仮払金			(58,475)
	宅急便会社	宅急便プリペイドカード	42,490
	横浜中税務署	源泉税過払い	15,985

立替金			(127, 600)
	会員	クレジット分本部会費 5 名	125, 000
	職員	住民税一部	2, 600
2 固定資産			【11, 681, 479】
特定資産			[10, 110, 079]
建物付属設備	とわ助産院	助産院内装 公ノ収 50%	3, 691, 860
構築物	とわ助産院	カーテン工事 公ノ収 50%	87, 483
助産師教育資金	横浜信金 定期預金	公益目的保有財産であり、運用益を助産師教育に使用	6, 008, 407
器具備品			(322, 329)
	とわ助産院	会議室備品、寝具 公ノ収 50%	2
	とわ助産院	エアコン "	149, 527
	とわ助産院	デジタルサイネージ "	172, 800
その他固定資産			
敷金	助産院貸主	助産院敷金	1, 561, 400
出資金	横浜信用金庫 鶴見支店	出資金	10, 000
資産合計			40, 512, 406
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金			(1, 232, 356)
	ウェブ制作者	ホームページ作成費	500, 000
	講師料 2 名	いのちのはなし・両親学級	66, 941
	相談員料 7 名	県委託コ叶電話相談	279, 198
	相談員料 2 名	県委託コ叶寄り添い支援	68, 626
	会員	借入金利息	140, 000
	委員会・部会	経費不足分	12, 450
	理事・委員	未払会議費	22, 448
	その他	後納郵便、光熱費他	142, 693
未払消費税	横浜中税務署	令和 2 年度消費税	629, 900

未払費用	職員	3月分給与	1,429,869
前受金	会員	令和3年度 年会費	6,775,000
預り金			(315,691)
	職員	源泉所得税 1~3月	124,323
	職員	地方税 3月	48,500
	講師他	源泉所得税 3月	25,800
	すくすく赤ちゃん献金	献金預り	114,064
	義援金	義援金預り	3,004
会費預り金	日本助産師会	年会費預り 1名	25,000
産科補償掛金	産科医療補償制度	産科医療補償掛金	32,000
2 固定負債			
長期借入金			(18,990,000)
	横浜信金 鶴見 1口	内装費・運転資金	4,990,000
	会員	内装費・運転資金	14,000,000
負債合計			29,429,816
正味財産			11,082,590

正味財産増減計算書

公益社団法人 神奈川県助産師会

自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日

科 目	法人全体	公益目的事業	収益事業	法人会計
〔一般正味財産増減の部〕				
〔経常増減の部〕				
〔経常収益〕				
〔事業収益〕				
会 費 収 入	7,584,000	3,792,000		3,792,000
研 修 会 収 入	649,500	649,500		
派遣・出前講座収入	403,576	403,576		
留学・実習生受入収入	879,546	879,546		
産後ケア受託収入	14,066,900	14,066,900		
分娩介助収入	19,327,970		19,327,970	
健診・母乳マッサージ収入	3,619,428		3,619,428	
県受託事業収益	2,289,741	2,289,741		
販 売 収 入	4,080		4,080	
〔受取補助金等〕				
補 助 金 収 入	1,827,437	1,781,937	45,500	
〔雑収益〕				
寄 付 金 収 入	24,880	12,440		12,440
受 取 利 息	905	690	175	40
雑 収 入	1,587,123	697,200	785,003	104,920
経 常 収 益 合 計	52,265,086	24,573,530	23,782,156	3,909,400
〔経常費用〕				
〔事業費〕				
給 料 手 当	16,266,602	8,070,922	8,195,680	
臨 時 雇 賃 金	272,000	262,000	10,000	
法定福利・退職給付	3,012,967	1,482,346	1,530,621	
福 利 厚 生 費	15,003		15,003	
旅 費 交 通 費	79,797	68,378	11,419	
通 信 運 搬 費	977,882	860,894	116,988	
相 談 員 料	2,327,316	2,327,316		
食 材 衛 生 材 料 費	1,115,324	424,180	691,144	
消 耗 品 費	792,403	577,677	214,726	
会 議 費	470,165	459,070	11,095	
水 道 光 熱 費	1,085,151	615,330	469,821	
修 繕 費	665,500	332,750	332,750	
印 刷 製 本 費	236,348	234,205	2,143	
リ ー ス 料	2,160,238	1,004,667	1,155,571	
研 修 会 費	1,474,342	1,474,342		

科 目	法人全体	公益目的事業	収益事業	法人会計
地 代 家 賃	5,180,556	2,590,278	2,590,278	
サ イ ト 運 営 費	161,645	146,558	15,087	
慶 弔 表 彰 費	67,843	3,435	64,408	
諸 謝 金	791,405	791,405		
租 税 公 課	1,133,643	916,428	217,215	
支 払 手 数 料	128,716	98,586	30,130	
委 託 費	234,000		234,000	
減 価 償 却 費	2,042,070	1,078,287	963,783	
防 犯 管 理 費	356,400	178,200	178,200	
保 険 料	240,280		240,280	
交 際 費	187,220		187,220	
支 払 寄 付 金	120,000	100,000	20,000	
支 払 利 息	299,968	60,676	239,292	
雑 費	247,195	218,778	28,417	

科 目	法人全体	公益目的事業	収益事業	法人会計
【管理費】				
給 料 手 当	2,108,483			2,108,483
法 定 福 利 費	230,405			230,405
福 利 厚 生 費	4,947			4,947
会 議 費	146,652			146,652
旅 費 交 通 費	60,006			60,006
通 信 運 搬 費	279,342			279,342
消 耗 品 費	102,183			102,183
支 払 手 数 料	40,642			40,642
印 刷 製 本 費	61,915			61,915
リ ー ス 料	334,888			334,888
水 道 光 熱 費	48,503			48,503
サ イ ト 運 営 費	15,086			15,086
報 酬 料 金	1,748,900			1,748,900
租 税 公 課	2,337			2,337
修 繕 費	114,400			114,400
諸 謝 金	18,000			18,000
雑 費	65,434			65,434
経 常 費 用 合 計	47,524,102	24,376,708	17,765,271	5,382,123
当 期 経 常 増 減 額	4,740,984	196,822	6,016,885	-1,472,723
貸 倒 損 失	-82,000		-82,000	
当 期 経 常 外 増 減 額	-82,000	0	-82,000	0
法 人 会 計 へ 他 会 計 振 替 額	0		-2,259,006	2,259,006
み な し 寄 付 金	0	1,855,075	-1,855,075	
法 人 税 ・ 住 民 税 及 び 事 業 税	-129,000		-129,000	
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	4,529,984	2,051,897	1,691,804	786,283
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	6,347,348	-2,356,089	15,425,088	-6,721,651
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	10,877,332	-304,192	17,116,892	-5,935,368
[指定正味財産増減の部]				
[当期指定正味財産増減額]				
受 取 補 助 金	1,627,542	1,582,042	45,500	
指 定 寄 付 金	199,895	199,895		
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	-1,827,437	-1,781,937	-45,500	
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	0	0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	205,258	205,258	0	0
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	205,258	205,258	0	0
正 味 財 産 期 末 残 高	11,082,590	-98,934	17,116,892	-5,935,368

記載要領： 下表の水色欄(部分)を記載してください。また、必要に応じて、行を追加・削除してください。

法人コード	A020770
法人名	公益社団法人 神奈川県助産師会

正味財産増減計算書内訳表
令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

科目	公益目的事業会計				収益事業等会計				法人会計	内部取引控除	合計
	公1	公2	共通	小計	収1	他1	共通	小計			
I 一般正味財産増減の部											
1. 経常増減の部											
(1) 経常収益											
基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中科目別記載											
特定資産運用益	0	0	690	690	0	0	0	0	0	0	690
特定資産運用益			690	690							690
受取入会金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取入会金											
受取会費	0	0	3,792,000	3,792,000	0	0	0	0	3,792,000	0	7,584,000
受取会費			3,792,000	3,792,000					3,792,000		7,584,000
事業収益	16,758,717	2,030,546	0	18,789,263	23,022,978	0	0	23,022,978	0	0	41,812,241
研修会収益	500	649,000		649,500				0			649,500
派遣・出前講座収益	401,576	2,000		403,576				0			403,576
留学・実習生受入収益		879,546		879,546				0			879,546
産後ケア入院	14,066,900			14,066,900				0			14,066,900
分娩介助収入				0	19,327,970			19,327,970			19,327,970
健診・母乳マッサージ				0	3,619,428			3,619,428			3,619,428
県受託事業収益	2,289,741			2,289,741				0			2,289,741
施設使用収益				0	71,500			71,500			71,500
その他収益		500,000		500,000	4,080			4,080			504,080
受取補助金等	300,000	1,382,042	99,895	1,781,937	45,500	0	0	45,500	0	0	1,827,437
指定正味財産より振替	300,000	1,382,042	99,895	1,781,937	45,500			45,500			1,827,437
受取負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中科目別記載											
受取寄付金	0	0	12,440	12,440	0	0	0	0	12,440	0	24,880
受取寄付金			12,440	12,440				0	12,440		24,880
雑収益	197,200	0	0	197,200	670,678	43,000	0	713,678	104,960	0	1,015,838
雑収益	197,200			197,200	670,678	43,000		713,678	104,960		1,015,838
経常収益計	17,255,917	3,412,588	3,905,025	24,573,530	23,739,156	43,000	0	23,782,156	3,909,400	0	52,265,086

41

法人コード	A020770
法人名	公益社団法人 神奈川県助産師会

正味財産増減計算書内訳表
令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

科 目	公益目的事業会計				収益事業等会計				法人会計	内部取引控除	合計
	公1	公2	共通	小計	収1	他1	共通	小計			
(2)経常費用											
事業費	18,769,541	4,797,798	809,369	24,376,708	17,687,999	77,272	0	17,765,271		0	42,141,979
給料手当	5,970,081	1,573,973	526,868	8,070,922	8,195,680			8,195,680			16,266,602
臨時雇賃金	173,000	54,000	35,000	262,000	10,000			10,000			272,000
法定福利費	1,172,408	309,938		1,482,346	1,098,621			1,098,621			2,580,967
退職給付費用				0	432,000			432,000			432,000
福利厚生費				0	15,003			15,003			15,003
旅費交通費	55,372		13,006	68,378	11,419			11,419			79,797
通信運搬費	652,049	206,647	2,198	860,894	106,439	10,549		116,988			977,882
相談員料	2,327,316			2,327,316				0			2,327,316
食材衛生材料費	424,180			424,180	691,144			691,144			1,115,324
消耗品費	501,847	75,830		577,677	214,705	21		214,726			792,403
会議費	272,235	1,000	185,835	459,070	11,095			11,095			470,165
水道光熱費	566,827	48,503		615,330	469,821			469,821			1,085,151
修繕費	332,750			332,750	332,750			332,750			665,500
印刷製本費	181,666	52,539		234,205	2,143			2,143			236,348
リース料	669,778	334,889		1,004,667	1,155,571			1,155,571			2,160,238
研修会費		1,428,300	46,042	1,474,342				0			1,474,342
会場費				0				0			0
地代家賃	2,590,278			2,590,278	2,590,278			2,590,278			5,180,556
サイト運営費	15,087	131,471		146,558	15,087			15,087			161,645
慶弔・表彰費	3,435			3,435		64,408		64,408			67,843
諸謝金	341,137	450,268		791,405				0			791,405
租税公課	818,470	97,958		916,428	215,141	2,074		217,215			1,133,643
支払手数料	65,684	32,482	420	98,586	29,910	220		30,130			128,716
委託費				0	234,000			234,000			234,000
減価償却費	1,078,287			1,078,287	963,783			963,783			2,042,070
防犯管理費	178,200			178,200	178,200			178,200			356,400
保険料				0	240,280			240,280			240,280
交際費				0	187,220			187,220			187,220
支払寄付金	100,000			100,000	20,000			20,000			120,000
支払利息	60,676			60,676	239,292			239,292			299,968
雑費	218,778			218,778	28,417			28,417			247,195

法人コード	A020770
法人名	公益社団法人 神奈川県助産師会

正味財産増減計算書内訳表
令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

科 目	公益目的事業会計				収益事業等会計				法人会計	内部取引控除	合計
	公1	公2	共通	小計	収1	他1	共通	小計			
管理費									5,382,123	0	5,382,123
役員報酬											0
給料手当											0
臨時雇賃金									2,107,472		2,107,472
法定福利費									1,011		1,011
福利厚生費									230,405		230,405
会議費									4,947		4,947
旅費交通費									146,652		146,652
通信運搬費									60,006		60,006
減価償却費									279,342		279,342
消耗品・備品費											0
交際費									102,183		102,183
支払手数料											0
印刷製本費									40,642		40,642
リース料									61,915		61,915
水道光熱費									334,888		334,888
会場費									48,503		48,503
地代家賃											0
サイト運営費											0
報酬手数料									15,086		15,086
租税公課									1,748,900		1,748,900
修繕費									2,337		2,337
支払寄付金									114,400		114,400
支払利息											0
諸謝金											0
雑費									18,000		18,000
経常費用計	18,769,541	4,797,798	809,369	24,376,708	17,687,999	77,272	0	17,765,271	65,434	0	65,434
									5,382,123	0	47,524,102

法人コード	A020770
法人名	公益社団法人 神奈川県助産師会

正味財産増減計算書内訳表
令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

科 目	公益目的事業会計				収益事業等会計				法人会計	内部取引控除	合計
	公1	公2	共通	小計	収1	他1	共通	小計			
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 1,513,624	△ 1,385,210	3,095,656	196,822	6,051,157	△ 34,272	0	6,016,885	△ 1,472,723	0	4,740,984
基本財産評価損益等				0				0			0
特定資産評価損益等				0				0			0
投資有価証券評価損益等				0				0			0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 1,513,624	△ 1,385,210	3,095,656	196,822	6,051,157	△ 34,272	0	6,016,885	△ 1,472,723	0	4,740,984
2. 経常外増減の部											
(1) 経常外収益											
雑収入				0				0			0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用											
貸倒損失				0	82,000			82,000			82,000
経常外費用計	0	0	0	0	82,000	0	0	82,000	0	0	82,000
当期経常外増減額	0	0	0	0	△ 82,000	0	0	△ 82,000	0	0	△ 82,000
他会計振替額			1,855,075	1,855,075	△ 1,855,075			△ 1,855,075			0
法人税住民税充当額				0	△ 129,000			△ 129,000			△ 129,000
当期一般正味財産増減額	△ 1,513,624	△ 1,385,210	4,950,731	2,051,897	3,985,082	△ 34,272	0	3,950,810	△ 1,472,723	0	4,529,984
一般正味財産期首残高			△ 2,356,089	△ 2,356,089	18,332,029	△ 760,558		17,571,471	△ 8,868,034		6,347,348
一般正味財産期末残高	△ 1,513,624	△ 1,385,210	2,594,642	△ 304,192	22,317,111	△ 794,830	0	21,522,281	△ 10,340,757	0	10,877,332
II 指定正味財産増減の部											
受取補助金・助成金	200,000	1,382,042		1,582,042	45,500			45,500			1,627,542
指定寄付金	100,000		99,895	199,895				0			199,895
一般正味財産への振替額	△ 300,000	△ 1,382,042	△ 99,895	△ 1,781,937	△ 45,500			△ 45,500			△ 1,827,437
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高			205,258	205,258				0			205,258
指定正味財産期末残高	0	0	205,258	205,258	0	0	0	0	0	0	205,258
III 正味財産期末残高	△ 1,513,624	△ 1,385,210	2,799,900	△ 98,934	22,317,111	△ 794,830	0	21,522,281	△ 10,340,757	0	11,082,590

令和 2 年度財務三基準判定

(令和 2 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日)

I 収支相償の計算

第 1 段階(公益目的事業)

単位:千円

事業番号	経常収益計	経常費用計	特定費用積立	第一段階の判定
公 1	17,256	18,769		<u>△1,513</u>
公 2	3,412	4,798		<u>△1,386</u>
合計	20,668	23,567		<u>△2,899</u>

第 2 段階(公益目的事業会計全体)

単位:千円

事業番号	収 入	費 用	第一段階の判定
第 1 段階合計	20,668	23,567	△2,899
共通収益費用	3,905	809	3,096
みなし寄付金	1,855	—	1,855
合 計	26,428	24,376	<u>2,052</u>

結果 → 第 1 段階赤字、第 2 段階で剰余金が出るため不適合

II 公益目的事業費率

公益目的事業費 24,376 千円

法人全体の費用 47,524 千円

公益目的事業費率	$24,376 \text{ 千円} / 47,524 \text{ 千円} = 51.3\%$
----------	--

結果 → 50%以上で適合 「みなし費用(電話相談員料)加算」でさらに比率アップ

III 遊休財産の保有制限

保有制限額 24,376 千円

遊休財産の金額

40,512 千円(資産合計)

- {6,008 千円(教育事業資金) + 2,051 千円(建物附属設備・備品の 50%)}

- {29,429 千円(負債) - 9,495 千円(長期借入金の 50%)} = 12,459 千円



結果 → 保有制限額以下で適合

監査報告書

令和3年5月18日

公益社団法人 神奈川県助産師会
会長 岡本 登美子 殿

公益社団法人 神奈川県助産師会

監事 仲 かよ 
監事 青島 恵美子 

私たち監事は、公益社団法人神奈川県助産師会の令和2年4月1日から令和3年3月31日までの事業年度における理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 また、理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上

2021 年度事業計画

事業項目		部会・委員会・事業	2021年度活動目標	計画	係認事項
公1 助産及び母子保健の普及・啓発及び調査・研究に関する事業	1) 助産及び母子保健の知識の普及啓発	タクシードライバー講習 (出前講座・助産師派遣)	タクシードライバーに助産及び母子に関する知識を普及啓発する	1回の個人向け講習会開催、出張講習会の依頼に迅速に対応し講師派遣を行う。講習内容の再検討。メンバーの育成、増員に努める	
		女性のための健康講座 (出前講座・助産師派遣)	女性の健康支援を通して、母子保健の知識の普及・啓発を図る。女性のための健康講座の活動を知ってもらうための広報活動にも力をいれていく	企業・学校・地域にて「女性のための健康講座」の出前講座を実施する プレ更年期を対象に、参加型講座7月、9月、11月の計3回実施する 2022年度の出前講座の依頼へつなげるため、講座担当者や幼稚園・保育園の先生、小学校のPTAなどを対象にした参加型講座のデモ講座（参加費無料、講座の一部を披露）を9月から10月頃に実施する あらゆるステージの女性（小中学生～中高年）の健康レベルの向上のために、「楽しく・元気に・美しく・健康に！」をキャッチフレーズとして、体（運動・栄養・睡眠など）と心（助産師の相談）の両面から癒される参加型プログラム（企業等とコラボして）を作成を引き続き行い、内容を改善していく 年間8回の会議を開催し、講座内容の企画・検討を行う	
		出前講座（助産師学生）	卒業間近の助産師学生が、助産師の多様な働き方を再認識し、自己の将来について考える機会を作る	年間1件以上、本会会員2～3名が2～3月に助産師養成所を訪問し、講座を開催する	公2教育も
		助産師派遣（研修講師派遣）	他団体からの要請に応じて講師を派遣する	年間1件以上、他団体からの要請テーマにかなう会員を講師として選定し、派遣する	公2教育も
		広報委員会	本会活動や助産及び母子保健、ならびに助産師の教育に関する情報を広報する	年間6回の会議を開催し、ニュースレター（7月号、12月号）の発行、HPの見直し・更新、助産師マップ（2020年度発行）の評価、PR動画の作成を行い、会員や関係施設に会の活動に関する情報を発信する。また、Instagramを導入しFacebookと連動させ、開業助産所などインタビュー記事を載せ（目標6か所/年）SNSでの広報活動を充実させていく	
	2) 子育て・女性健康支援の推進	子育て・女性健康支援センター事業 「ハローベビーかながわ」	女性のライフサイクル全般の相談を行うことによって、子育てや女性の健康が支援される	助産師による電話相談「ハローベビーかながわ」を月曜～土曜、10時から16時まで開催する	
		助産師が伝える「いのちのはなし」事業	様々な年代の子供たちに生命の尊さを伝え、自己肯定感を養うとともに身体的科学的知識を提供し健康教育を推進する	「ふれあい助産師サロン（ベビーマッサージ・母乳育児支援等）」を開催する(新型コロナウイルス感染症の状況に応じて、人数制限・感染対策をおこなった上で開催する)	
		とわ助産院	地域貢献事業が推進される	学校・PTA・地域などにおいて「いのちのはなし」の助産師講師派遣を行い、地域向けの講座を年4回企画実施する。母親サークルなどにおいて地域出張型の講座を開催する。広告誌を作成し活動に関する啓発を行う	
				助産院を定期的に地域の母子解放し、ニーズに合った教室講演の開催を計画する。10月8日とわの日を開催する 産後ケア事業における母子を積極的に受け入れ育児支援に貢献する 定期的各教室の継続（ふれあい助産師サロン、ベビーマッサージ、産後ボディアク、ベビーサイン、ヨガストレッチ等）を行う ハローベビーかながわの電話管理、協力をおこなう マカフェなど、地域のニーズに合わせたクラスの開催で地域貢献に努める 中学生の職業体験を受け入れる	
	3) 行政・関連団体・企業との連携強化	助産師派遣 (各種団体・企業への助産師派遣) 事業	各種団体及び企業や行政と連携し助産師を派遣する	赤ちゃん本舗（湘南テラスモール店、アリオ橋本店）で、マタニティスクールを行うための助産師を派遣する 年1回、相談員によるミーティングを開催し、事業活動の向上を図る イオン東戸塚店キッズリブブリックにおいて相談員として助産師を派遣する。年2回、相談員によるミーティングと店舗との会議を開催し、事業活動の向上を図る 行政の事業へ助産師を派遣し事業活動の向上を図る 逗子市マタニティクラス講師の助産師を派遣する 各企業や行政との連携を図るとともに実施状況や収支を把握する	
		理事会	行政機関との連携強化する	委託事業等、必要な事項を関係団体に要望する	
		安全対策委員会	異常報告書による事例検討・分析を行い共有し再発防止を図る	12回/年、委員会開催。助産所の異常報告書から事例検討、分析を行い、助産所部会へ分析結果を戻す。部会で共有共有し再発防止を図る。保健指導部会からヒヤリット事例について検討、検討内容について報告する	公2 労働環境も
	1) 助産師業務の安全管理	助産所部会・保健指導部会、勤務部会	助産師に損害賠償保険の加入を推進する	緊急事態が発症した場合、適切かつ迅速な対応に臨む 部会や部会集会、メーリング等を通じて、損害賠償保険に関する情報を発信する	公2 労働環境も
		助産所部会	助産所の嘱託医と嘱託医療機関との連携を図る	年に1回、助産所と嘱託医・嘱託医療機関との報告会を開く 助産業務ガイドラインの遵守と県内全ての助産所安全管理評価を行う。また年に6回、部会委員会及び部会を開催し安全対策委員会からの事例分析を情報共有する。重症事例が発生した場合において、安全対策委員会と連携し産婦人科医師2名、新生児科医師1名を加えたアドバイザー会議に出席し対応の検討と再発防止に取り組む。新型コロナウイルス感染症における院内感染対策について情報共有し感染対策に努めるよう啓発する	公2 労働環境も

2021 年度事業計画

事業項目		部会・委員会・事業	2021年度活動目標		計画	確認事項
及び						
		保健指導部会	保健指導で開業している助産師に対し、安全管理基準の周知徹底を図る		本部や安全対策委員と連携し、部会集会やメーリングを通じて再発防止につながるよう安全管理に関する情報を伝える	公2 労働環境も
	2) 支援事業	災害対策委員会	災害時の妊産婦、女性を支援する		定期的委員会の開催を行い、平時より災害対策に努める 地区別の災害対策委員とともに活動し、県全体を包括した対策を進める。災害時支援協力助産師制度の充実、会員の安否確認連絡網の確立を目指す。平時から災害募金活動・備蓄品の整備を行う 神奈川県、昭和大学との合同による母子の災害対策に、以下を取り組む 研修会開催（研修会1回と昭和大学への協賛1回）、妊産婦母子支援マニュアル配布、妊産婦、母子向けリーフレットの作成	
	3) 調査・研究	理事会	すくすく赤ちゃん献金事業の推進活動を行う		すくすく赤ちゃん献金事業について表彰、広報、管理する	
		倫理委員会	申請のあった研究等の倫理審査について、手順に沿って速やかに審査を行う		申請から1か月を目安に倫理審査結果を申請者に報告する	
		子育て・女性健康支援センター事業「ハローベビーかながわ」	ハローベビーかながわに関するデータを分析し、質向上に努める		子育て・女性健康支援センター事業「ハローベビーかながわ」（電話相談）に関するデータ収集と分析を行いHPに結果を公表する	
		助産師が伝える「いのちのはなし」事業	いのちのはなし事業に関するデータを分析し、質向上に努める		いのちのはなし事業の実施結果に関するデータ収集と分析を行いHPに結果を公表する	
		助産所部会	助産所分働のデータを分析、報告し、安全な助産所運営に役立て地域に還元する		県内21か所の助産所の分働に関するデータ収集と分析を毎月行い、ITを使い日本助産師会へも報告する	
		保健指導部会	母子保健活動に関するデータを収集し、資質向上に役立てる		年9回の会議を開催する。会員活動調査(クニカルラダー取得状況含む)・母乳育児支援自己評価表・ヒヤリット事例・グッドジョブ事例に関するデータの収集を行い本部に報告し、データを公表する	
		勤務部会	CLoCMiP取得後の労働環境の状況を把握する		CLoCMiP取得後の労働環境の変化を明らかにする	
		教務部会	助産所実習受け入れのデータを分析し、実習の充実を図る		助産所実習の受け入れ状況と就業状況に関するデータ収集と分析を行い、HPで公表する	
事業公2 助産師の資質向上のための教育及び環境整備に関する	1、助産師及び助産師養成機関及び看護職の能力向上・スキルアップ	1) 助産師の資質の向上のためのための研修会・講習会(教育)	事業運営会議(教育担当)	助産業務スキルアップを図る (CLoCMiP認証や更新を含む)	CLoCMiP認証と更新を含む研修会の企画・運営を行う	
				母子保健に関する知識の普及や技術の向上を図る	母子保健に関する知識の普及や技術の向上に関する研修会の企画・運営を行う	
				電話相談等の相談業務する看護職の資質が向上する	電話相談等の相談業務する看護職のスキルアップのための研修会の企画・運営を行う	
				助産業務に関する安全対策を図る	安全対策に関する研修会の企画・運営を行う	公1を含む
				災害時の妊産婦、女性を支援する	災害対策に関する研修会の企画・運営を行う	
				母子保健に関わる看護職の産科救急対応に向けた支援を行う	新生児蘇生(Bコース)講習及び新生児蘇生法ステップアップ研修(Sコース)及び母体救命公認講習会(j-cimels ベーシックコース)及び産科救急に関する研修の企画・運営を行う	
				母乳育児ケアに関する知識の普及や技術向上を図る	母乳育児に関する研修会の企画・運営を行う	
				助産院留学 事業	助産院留学制度・各種講座見学について広報する	会員向けチラシの作成と配布
			助産院留学・各種講座見学実施に関する管理を行う	留学希望者、見学希望者の調整を行い、実施状況を把握する		
		助産師が伝える「いのちのはなし」事業	いのちのはなしを企画し、講師を育成する	年8回会議を実施し、地域向け講座を会立と助産院年4回実施、地域公民館、子育てサークルなどでの実施企画。いのちのはなし実施要項及び手順の作成を行う		
			いのちのはなしの活動を広報し、事業の拡充を図る	会員に向けてチラシを配布し、「いのちのはなし」の見学者を募集する 実施校等にご案内と申込書を送付する		
		2) 円滑な学生実習の受け入れのための支援	教務部会	助産所実習が円滑に行われるよう支援する	助産所実習について、各学校・助産所の代表による連絡会を年に2回行い、実習調整と今後の運営について検討を行う。相模強化委員会と共に、実習施設校の会員登録への働きかけを行う。さらにおよび災害対策委員会と共に、災害時の実習生対応に関するマニュアル作成の検討を行う。	
			助産所部会	実習を受け入れる助産所への支援を行う	補助金の制度が活用される際の相談窓口となり、助産院等を支援する	
			とわ助産院	学生の実習や助産師の研修の受入を行い、後輩を育成する	看護学生、助産師学生の受け入れ後輩育成に努力する。また助産師の研修受け入れも積極的に行う	
境 労 産 2 善 の 働 師、 改 環 の 助	1) 労働環境の改善	勤務部会	クニカルラダー取得後労働環境の状況を把握し、労働環境の改善に活かす	年10回の会議を実施する。クニカルラダー取得後の助産師の労働環境変化の実態を把握するために調査を継続しておこない、労働環境の改善について検討を行う		
		助産所部会	クニカルラダー申請を推進し状況を把握する	申請状況、更新状況を部会で確認、把握する		

2021 年度事業計画

事業項目		部会・委員会・事業	2021年度活動目標		計画	確認事項
III 助産所の運営	1 の、助産所の運営	1) 収益事業としての助産院運営	とわ助産院	とわ助産院を健全に運営し、経営を確立する	会立助産院のビジョンの立て直しを図る ガイドラインを遵守し分娩件数40件を目標とし、母乳外来の広報、外来数のアップを目指す 嘱託医、医療機関、行政、近隣の子育て機関との連携強化に努める 助産制度の分娩を受け入れ、福祉に貢献する	
			助産所部会・保健指導部会・勤務部会	本部・都道府県等の部会と連携を図り、会の組織強化を図る	本部の総会・研修会・部会集會に参加し、情報交換や連携を行う 賛詞交歓会の企画・運営を行う 関係団体との会議に出席し、連携を図る 行政との連携 補助金や委託をうけるための活動を行う	
IV 会員相互扶助に関する事業	1、他団体との連携と福利厚生	1) 連携促進による組織強化	理事会	行政や関係団体との連携を図り、会の組織強化を図る	賛詞交歓会の企画・運営を行う 関係団体との会議に出席し、連携を図る 行政との連携 補助金や委託をうけるための活動を行う	
			助産所部会	会員間で助産所運営にかかわる情報伝達と意見交換会を持つことで部会員の資質向上を図る	年12回必要時に部会委員会を開催し、助産所間の情報を共有するとともに、安全対策委員会主催のアドバイザー会議の内容を会員に還元する。	
			勤務部会	会員（勤務部助産師）の情報、現在の問題・課題を共有し共通理解する	県内の勤務助産師が集合し、各病院の看護の特殊性を語り合い情報共有する。	
			保健指導部会・教務部会	会員の情報の共有を図る	部会集會やメールリストの発信を行い、本部・当会の活動状況や研修の案内等の情報を伝える	
			理事会	福利厚生を充実を図る	表彰(すくすく赤ちゃん献金)・献金、慶弔等を行う(※新型コロナウイルス感染症拡大防止のためオンライン研修導入により、研修会チケット発行は一時的に休止とする)	
		2) 福利厚生	理事会	会の事業運営を円滑に行うために必要な事項を検討する	総会、理事会を開催する。(総会6月、理事会8回/年、必要時は臨時理事会を開催) 新型コロナウイルス感染症の状況に応じて、会の運営状況や方針をその都度検討していく	
			理事会運営会議	理事会の円滑な運営のために必要な事項を検討する	会の活動、運営に関する事項について運営会議を開催する(適宜)	
			とわ助産院運営会議	とわ助産院の円滑な運営のために必要な事項を検討する	とわ助産院運営会議を開催する(適宜) アドバイザーの参加により助産院運営の経営の改善を図る	
			事業運営会議(事業担当・教育担当)	公益事業の円滑な運営のための事業整理や、研修会調整を行うために必要な事項を検討する	公益事業の改善や研修事業(研修会)に関する調整・企画・運営を行うために事業運営会議を開催する(6~7回/年) 新型コロナウイルス感染症拡大状況により、オンラインによる研修会や決済を活用し、社会情勢の変化に伴い事業運営の在り方を随時検討していく	
			未来戦略委員会	母児と家族への必要な支援や課題を情報収集し、行政・各政党に政策提案する	年6回の会議を行う。地域母子保健の健全化の問題点について組織強化委員会や理事会と協力し情報収集したことを要望書として作成し、行政・各政党へ政策提言を行う	
V その他	1、組織基盤の安定化にむけた活動と管理	1) 事業活動や運営の安定と強化	理事会	会の事業運営を円滑に行うために必要な事項を検討する	総会、理事会を開催する。(総会6月、理事会8回/年、必要時は臨時理事会を開催) 新型コロナウイルス感染症の状況に応じて、会の運営状況や方針をその都度検討していく	
			理事会運営会議	理事会の円滑な運営のために必要な事項を検討する	会の活動、運営に関する事項について運営会議を開催する(適宜)	
			とわ助産院運営会議	とわ助産院の円滑な運営のために必要な事項を検討する	とわ助産院運営会議を開催する(適宜) アドバイザーの参加により助産院運営の経営の改善を図る	
			事業運営会議(事業担当・教育担当)	公益事業の円滑な運営のための事業整理や、研修会調整を行うために必要な事項を検討する	公益事業の改善や研修事業(研修会)に関する調整・企画・運営を行うために事業運営会議を開催する(6~7回/年) 新型コロナウイルス感染症拡大状況により、オンラインによる研修会や決済を活用し、社会情勢の変化に伴い事業運営の在り方を随時検討していく	
			未来戦略委員会	母児と家族への必要な支援や課題を情報収集し、行政・各政党に政策提案する	年6回の会議を行う。地域母子保健の健全化の問題点について組織強化委員会や理事会と協力し情報収集したことを要望書として作成し、行政・各政党へ政策提言を行う	
		2) 寄付依頼活動・会員ネットワークの推進・強化	組織強化委員会	会員増加対策を行う	会員ネットワークの推進、強化を図る 県下各地区との連携を図り、情報の交換・共有を行う。地区別連携集會の開催(1回/年)：母子保健状況・要望の把握 会員・賛助会員の増員や地区の連携を推進する活動を行うための委員会を開催する(6回/年程度) 研修会で流す会のPRビデオメッセージを再編成する。研修会で司会者が入会の案内をする 入会予約キャンペーンを実施する(1月~3月)：12月にチラシ発送(病院・保健センター)・教務部会で配布 助産師学生へのアプローチ：12月教務部会で学生分のチラシを配布 キャンペーン特典の研修会チケット配布は休止とし、研修会参加費を1回無料とする 入会者紹介キャンペーンを実施する(4月~5月)：12月・4月チラシ発送(会員) 紹介者・新規加入者への研修会チケット配布は休止とし、研修会参加費を1回無料とする 会員への研修会チケット配布は休止とし、研修会参加費を減額する(3000円→2000円) 個人(学生含む)団体・企業・学校などに向け、賛助会員の入会を勧める：12月にチラシを発送(会のリーフレット同封)、6月教務部会で実習受け入れ学校に配布	
			賛助会員の入会促進活動を行う	個人(学生含む)団体・企業・学校などに向け、賛助会員の入会を勧める：12月にチラシを発送(会のリーフレット同封)、6月教務部会で実習受け入れ学校に配布		
			会の円滑な運営のために寄付金を集める	企業・病院に寄付の依頼文を発送する：12月(会のリーフレット同封)		
			財務会議	公益財務三基準を満たし、会の運営が健全に行われるように収支を管理する	定例会議の開催(1~2か月に1回) 各部会・委員会及び本会計における毎月の収支を管理する 2020年度会計監査実施・財務諸表を作成し、総会における決算報告を行う 上半期決算(2021年4~9月) 会議の開催する。年度末決算(2021年4月~2022年3月) 報告書を作成する 2022年度収支予算案を立案する(2022年2月 予算会議実施) 寄付金の管理をし、理事会、総会において報告。寄付者名をHPへ掲載する 総会懇親会、賛詞交歓会に関する会計報告を実施する 会員の人数及び動向を把握し会費を管理する(※研修会チケット発行の一時休止に伴い、研修会チケットの集計も休止する)	
			3) 財務管理	財務会議	公益財務三基準を満たし、会の運営が健全に行われるように収支を管理する	定例会議の開催(1~2か月に1回) 各部会・委員会及び本会計における毎月の収支を管理する 2020年度会計監査実施・財務諸表を作成し、総会における決算報告を行う 上半期決算(2021年4~9月) 会議の開催する。年度末決算(2021年4月~2022年3月) 報告書を作成する 2022年度収支予算案を立案する(2022年2月 予算会議実施) 寄付金の管理をし、理事会、総会において報告。寄付者名をHPへ掲載する 総会懇親会、賛詞交歓会に関する会計報告を実施する 会員の人数及び動向を把握し会費を管理する(※研修会チケット発行の一時休止に伴い、研修会チケットの集計も休止する)

2021年度 研修会一覧

	日程・時間	研修会内容	講師	所要時間	人数	参加費	会場
1	7月3日(土)13:30-15:00	災害時の妊産婦・母子を守るための方法と準備	日本助産師会災害対策委員長 礪山あけみ 他4名	90	100	1000	オンライン
2	7月8日(木) 9:00-12:00 14:00-17:00	Sコース1日2回		180	12×2	2000	とわ助産院
3	7月11日(日) 10:30~12:00	事例から学ぶCTGの判読・対応	プラタナス産婦人科クリニック ながつた 望月昭彦	90	40	1000	会館
4	13:00-14:30	産後ケア事業を行なう助産師に必要なアセスメントと記録	東京都立大学 健康福祉学部教授 安達久美子	90			
5	8月28日(土) 13:30~15:30	母乳ケア 乳腺炎ガイドライン2020	みやした助産院 宮下美代子	120	100	2000 3000 6000	オンライン
6	9月18日(土) 13:30-15:30	助産師が起業するための経営手腕Part2	横浜女性経営者サポートセンター所属 伴貴代子	120	100	2000 3000 6000	オンライン
7	10月2日(土)13:00~15:00	周産期医療ドラマ「コウノドリ」の医療監修で伝えたかったこと・気づいたこと	神奈川県立こども医療センター 新生児科 豊島勝昭	90	100	2000 3000 6000	オンライン
8	11月	災害対策研修			100		オンライン
9	12月4日(土) 10:00~11:30	産科危機的出血など母体急変対応について	聖マリアンナ医科大学 産婦人科学 教授 長谷川潤一	90	40	1000	会館
10	13:00~14:30	新生児のフジカルアセスメント	神奈川県立こども医療センター 柴崎淳	90			
11	1月29日(土) 13:00-14:30	仮)基本的なカウンセリングマインド	臨床心理士 樹田智子氏	90	100	1000	オンライン
12	14:45-16:15	親子関係が出産/育児に及ぼす影響	済生会横浜市東部病院 臨床心理士/助産師 相川祐里	90			
13	2月5日(土) 10:30-16:30	Bコース1回		360	27	2000	とわ助産院
14	2月12日(土) 13:30-15:00	産後うつの早期発見と対応	西村茉莉子	90	100	2000 3000 6000	オンライン
15	15:15-16:45	助産師人生100年をめざして	神奈川県助産師会会長 岡本登美子	90	100	2000 3000 6000	オンライン
16	3月20日(日) 9:00-13:00 14:00-18:00	J-CIMELS(6名×3ブース×1日2回)		240	18×2	17000	会館

記載要領：下表の水色欄(部分)を記載してください。また、必要に応じて、行を追加・削除してください。

法人コード	A020770
法人名	公益社団法人 神奈川車動産協会

収支予算書

2021年4月1日から2022年3月31日まで

(単位:円)

科目	公益目的事業会計								収益事業等会計						法人会計	内部取引控除	合計	
	公1	公2	公3	公4	公5	公6	共通	小計	収1	収2	収3	他1	共通	小計				
I 一般正味財産増減の部																		
1. 経常増減の部																		
(1) 経常収益																		
基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中科目別記載																		
特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中科目別記載																		
受取入会金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取入会金																		
受取会費	0	0	0	0	0	0	3,830,000	3,830,000	0	0	0	0	0	0	0	3,830,000	0	7,660,000
受取会費																		
事業収益	11,914,156	2,929,000	0	0	0	0	3,830,000	3,830,000	0	0	0	0	0	0	0	3,830,000	0	7,660,000
研修会・出前講座収益	1,293,000	2,244,000						14,843,156	24,305,000	0	0	480,000	0	0	24,785,000	150,000	0	39,778,156
派遣・留学・実習生受入収益	1,606,756	685,000						3,537,000							0			3,537,000
産後ケア入院	9,000,000							2,291,756	1,000,000						1,000,000			3,291,756
分娩介助・検診収益								9,000,000							0			9,000,000
その他収益	14,400							0	23,300,000						23,300,000			23,300,000
受取補助金等	200,000	1,690,000	0	0	0	0	0	14,400	5,000			480,000			485,000	150,000		649,400
受取補助金	200,000	1,690,000						1,890,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,890,000
受取負担金	0	0	0	0	0	0	0	1,890,000							0			1,890,000
中科目別記載								0							0			0
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	200,000	0	200,000
受取寄付金								0							0	200,000		200,000
雑収益	18,000	0	0	0	0	0	0	18,000	60,000	0	0	80,000	0	0	140,000	10,000	0	168,000
雑収益	18,000							18,000	60,000			80,000			140,000	10,000		168,000
経常収益計	12,132,156	4,619,000	0	0	0	0	3,830,000	20,581,156	24,365,000	0	0	560,000	0	0	24,925,000	4,190,000	0	49,696,156

法人コード	A020770
法人名	公益社団法人 神奈川県助産師会

収支予算書

2021年4月1日から2022年3月31日まで

(単位:円)

科目	公益目的事業会計								収益事業等会計						法人会計	内部取引控除	合計	
	公1	公2	公3	公4	公5	公6	共通	小計	収1	収2	収3	他1	共通	小計				
(2)経常費用																		
事業費	18,003,470	5,072,728	0	0	0	0	388,368	21,464,566	19,604,521	0	0	725,000	0	20,329,521		0	41,794,087	
給料手当	7,380,000	580,000						7,960,000	10,200,000					10,200,000			18,160,000	
臨時雇賃金	165,000	150,000																
法定福利・退職給付費							15,000	330,000						0			330,000	
福利厚生費								0	432,000					432,000			432,000	
旅費交通費	199,924	76,528						0	30,000					30,000			30,000	
通信運搬費	35,060	19,440					92,352	368,804	30,000					30,000			388,804	
減価償却費	559,334							559,334	200,000					200,000			254,500	
消耗品・備品費	30,000							30,000	839,001					839,001			1,398,335	
会議費	744,840	162,451							350,000					350,000			380,000	
水道光熱費	360,000						192,416	1,099,707						0			1,099,707	
印刷製本費	81,000							360,000	540,000					540,000			900,000	
リース料	600,000							81,000						0			81,000	
研修会費	17,000	622,820						600,000	900,000					900,000			1,500,000	
地代家賃	2,076,000						20,000	659,820				675,000		675,000			1,334,820	
留学委託費		150,000						2,076,000	3,114,000					3,114,000			5,190,000	
サイト運営費	55,000	963,489						150,000						0			150,000	
広告宣伝費								1,018,489						0			1,018,489	
諸謝金	2,388,532	2,295,000						0						0			0	
租税公課	196,000						65,000	4,748,532	430,000					430,000			5,178,532	
報酬・委託費・手数料								196,000	854,000					854,000			850,000	
食材衛生材料費	400,000							0						0			0	
保険・防犯管理費								400,000	600,000					600,000			1,000,000	
相談員料	626,000							0	553,520					553,520			553,520	
慶弔費								626,000						0			626,000	
支払利息								0				50,000		50,000			50,000	
雑費	89,780	53,000					3,800	146,380	292,000					440,000			440,000	
														292,000			438,380	

法人コード	A020770
法人名	公益社団法人 神奈川県助産師会

収支予算書

2021年4月1日から2022年3月31日まで

(単位:円)

科目	公益目的事業会計								収益事業等会計						法人会計	内部取引控除	合計
	公1	公2	公3	公4	公5	公6	共通	小計	収1	収2	収3	他1	共通	小計			
管理費															7,676,632	0	7,676,632
役員報酬																	0
給料手当															1,740,000		1,740,000
法定福利費															290,000		290,000
福利厚生費															20,000		20,000
会議費															372,876		372,876
旅費交通費															201,680		201,680
通信運搬費															503,480		503,480
減価償却費																	0
消耗品・備品費															250,000		250,000
交際費																	0
社員選出費																	0
印刷製本費															156,000		156,000
リース料															1,190,736		1,190,736
水道光熱費															250,000		250,000
地代家賃																	0
サイト運営費															77,000		77,000
支払報酬料															1,702,800		1,702,800
支払手数料															123,680		123,680
租税公課															200,000		200,000
支払負担金																	0
支払寄付金															100,000		100,000
支払利息																	0
諸謝金																	0
雑費															498,380		498,380
経常費用計	16,003,470	5,072,728	0	0	0	0	388,368	21,464,566	19,604,521	0	0	725,000	0	20,329,521	7,676,632	0	49,470,719

法人コード	A020770
法人名	公益社団法人 神奈川県助産協会

収支予算書

2021年4月1日から2022年3月31日まで

(単位:円)

科目	公益目的事業会計								収益事業等会計						法人会計	内部取引控除	合計
	公1	公2	公3	公4	公5	公6	共通	小計	収1	収2	収3	他1	共通	小計			
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 3,871,314	△ 453,728	0	0	0	0	3,441,632	△ 883,410	4,760,479	0	0	△ 165,000	0	4,595,479	△ 3,486,632	0	225,437
基本財産評価損益等								0						0			0
特定資産評価損益等								0						0			0
投資有価証券評価損益等								0						0			0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 3,871,314	△ 453,728	0	0	0	0	3,441,632	△ 883,410	4,760,479	0	0	△ 165,000	0	4,595,479	△ 3,486,632	0	225,437
2. 経常外増減の部																	
(1) 経常外収益																	
中科目別記載																	
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用																	
法人税等充当額																	
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額																	
当期一般正味財産増減額	△ 3,871,314	△ 453,728	0	0	0	0	579,785	579,785	△ 579,785					△ 579,785			0
一般正味財産期首残高							4,021,417	△ 303,625	4,180,694	0	0	△ 165,000	0	4,015,694	△ 3,486,632	0	225,437
一般正味財産期末残高	△ 3,871,314	△ 453,728	0	0	0	0	△ 2,356,089	△ 2,356,089	18,332,029			△ 760,558		17,571,471	△ 8,868,034		6,347,346
II 指定正味財産増減の部							1,665,328	△ 2,659,714	22,512,723	0	0	△ 925,558	0	21,687,165	△ 12,354,666	0	6,572,785
受取補助金・助成金																	
寄付金																	
一般正味財産への振替額																	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高							205,258	205,258									
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	205,258	205,258	0	0	0	0	0	0	0	0	205,258
III 正味財産期末残高	△ 3,871,314	△ 453,728	0	0	0	0	1,870,586	△ 2,454,456	22,512,723	0	0	△ 925,558	0	21,687,165	△ 12,354,666	0	6,778,043

2020～2021年度 神奈川県助産師会 役員

役 職	氏 名	所 属
会長	岡本登美子	ウパウパハウス岡本助産院
副会長	柳澤 裕美	オリーブ母子相談室
	鈴木 令佳	かもめ助産院
総務理事	山田 舞	みどり助産院
	柳井めぐみ	スマイルベビー
事業統括理事	布施 明美	医療法人産育会掘病院
	森内 幸美	もりうち母乳育児相談室
財務理事	平野 珠麻	池川クリニック
	富宅真理子	三浦市役所
会立助産院理事	山本 年映	とわ助産院
助産所部会	中島 清美	子育てサポートハウスmarimo助産院
保健指導部会	又木 由美	ナチュラル母乳育児相談室
勤務部会	吉田とも子	横浜市立大学附属病院
教務部会	上田 邦枝	昭和大学
監事	仲 かよ	助産院バースあおば
	青島恵美子	東邦大学